夕刊 滿洲日報 五月二十六日
發行所 大連市東公園町卅一番地 株式會社滿洲日報社

反蔣熱漸く昂まり 蔣氏危機に立つ
馮玉祥氏の討伐軍に 不平分子が續々加擔

【北平特電二十五日發】馮玉祥氏が河南、陝西、甘肅、寧河、新疆、外蒙を地盤とし西北政府を組織し西北軍總司令に就任し蔣介石討伐の軍を起すや、今まで蔣氏に對し不平を有して居た左右分子は何れも馮氏に加擔し國民黨中央執行監察委員中にも汪精衞氏等の左派、張繼氏一派の西山派等は蔣氏反對の色彩を明かにして共同戰線に立ち、政治的に蔣驅逐運動を起し茲に軍事的にも政治的にも蔣氏は重大なる危機に立つに至つた

馮氏に辭職を勸告
舊部下劉鎭華氏から打電

【北平廿五日發電】馮玉祥氏の舊部下で閻錫山氏の指揮を受けてゐる劉鎭華氏は本日馮玉祥氏に對し國家の大亂を免るべく速かに辭職されよと打電した

山西中立說を 絕對に否認

【北平二十五日發電】山西中立說につき國民政府駐平辦事處及び山西側では絕對に之を否認し、最近有力なる馮軍が綏遠方面に大迂廻し山西々部地方は危機に瀕せるため閻錫山氏は再三蔣介石氏に對馮總攻擊令の發布を要求せる事實があると洩らしてゐる

碧雲寺に於る 最後の祭典

【北平二十五日發電】北平に於ける孫文移柩の最後の祭典は本日午後十時より西山碧雲寺に執行され未亡人宋慶齡女史、孫科氏夫妻その他親族及び日本側より山田、萱[illegible]池氏等參列、遺骸を納めた米國製の銅棺には青天白日滿地紅旗が覆はれ、軈て軍樂隊の悲しみの曲奏せらるゝや孫科氏は未亡人家族等と共に靈前に三鞠の禮をなし花輪を捧げたが、未亡人は遂に淚新たなるものあり柩の前に跪きよゝと泣きくづれた、家族の參拜終るや吳鐵城、林森、鄭洪年氏等國民政府派遣委員その他各官廳代表者最後の告別をなしたが夜は次第に更け零時となるや靈柩は親族知友政府代表等に護り碧雲寺の前に堵列せる儀仗兵の護衞を受けて南京への移柩の第一歩に入つた

移柩行列肅々と 北平城に入る
孫文氏移柩祭始まる

【北平二十六日發電】北伐成功以來神體化した孫文の靈前には此の一ケ年供花焚香の絕え間なかつたが、愈南京に遷移されると定まつてからは碧雲寺に參詣する人は踵を接し殊に二十三日から三日間に亘る公祭には非常な

參拜人 で吳鐵城、鄭洪年、林森氏等國民政府代表を初め各省市政府、黨部、軍隊の代表、內外各團體の參拜あり遺族たる孫文未亡人宋慶齡女史、孫科夫妻初め令孫、親族も二十五日親しく參拜し之等の人々に依つて獻げられた花輪は美々しく靈柩を埋めた、廿六日は午前一時、前夜來宋未亡人等の遺族及び吳鐵城氏等の國民政府代表以下內外各機關、團體の代表に守られた孫文の遺靈は支那の

古典に 則り壯嚴なる銅棺に移され六十餘人の槓夫に擔がれて靜かに過去四年間假の奉安所であつた碧雲寺の山門を出た、門前には移柩行列に參加する軍警軍樂隊等整列して靈柩を待つてゐたが、靈柩山門を出るや騎兵隊長の先頭に依つて行列は肅々として行進し初め、支那國旗、國民黨々旗を捧持した騎兵隊に續いて軍樂隊は

哀の曲 を吹奏して行進し、次で步兵四個中隊に前後を護衞された孫文の靈柩は黑の支那服に絕えず啜泣く宋慶齡未亡人及び孫科氏等の遺族各界代表に送られながら西山から玉泉山、青龍橋を經て西直門に至る十數哩の西山街道を北平城に向つて進んだ、この時十二發の弔砲殷々と西山にこだまし稍かけたる月は山々に冷たき光を投げ男女學生一千名の提灯遙かに續く、西山一帶に香の煙り漲り哀愁と莊嚴の氣に滿ちた、斯くて此の行列が西直門に到着したのは午前十時、此日北平城內の

警戒は 非常なもので共產黨の策動、反動分子の陰謀說に恐れをなした、平津衞戍司令部では各城門を開けず城內に戒嚴令を布き各商店を鎖し通路は行列通過前に早くも軍警を配備して一切の交通機關を停止せしめ通行人の往來をも禁止したので行列を觀んとする者は數時間前から各指定の地に整列して居らねばならない狀態であつた、之より先午前七時平津衞戍總司令部は天安門に於て百一發の禮砲を放ち各工場は汽笛を鳴らし各官廳各機關、各學校初め一般市民は各戶に

半旗を 出して哀悼の意を表し駐支各國公使館初め外國人も半旗を出して此の國家的祭典に[illegible]情誼を表示した

けさ木下長官 海路急遽上京す
埠頭賑かな見送裡に

田中首相の招電により木下關東長官は夫人、春日秘書官を同伴急遽二十六日午前十時出帆の香港丸にて東上したが、埠頭には今朝奉天より歸連せる山本滿鐵社長を始め山崎本社長、小日山滿鐵理事、神田內務、藤岡警務局長、田中民政署長、佐藤、高田、大連商議正副會頭等官民多數の見送りがあつた　長官は語る

電文が簡單だから用件が何であるかは判らぬが內閣改造に關するやうな政治的重大問題が突發したとは思はれぬ、田中內閣としては拓務省の設置と共に愈々更始一新の時機に際會してゐるわけであるから多少政治的の相談は受けるだらうが大體事務的な問題であらうと思ふ

新しく設置する 政友特別委員會
六月初旬最後の決定

【東京二十六日發電】政友會では新政策を確立して輿論の轉換を圖らんとして目下政務調査會に於て種々研究中で、山崎政務調査會長は前回の同會理事會に於て協議した各意見に基き今後特別委員會を設けて調査すべき事項及び一般調査事項として揭ぐべき調査項目等を整理してゐたが、大體成案を得たので本日午後一時より本部に理事會を開き同三時より政務調査會役員と幹部との聯合會を開いて

諒解を 求め更に來月初旬政調の總會を開いて最後の決定をなすはずである、今回設置される特別委員會は

一、公私經濟浪費節約に關する特別委員會
一、失業救護に關する特別委員會
一、就職難救濟に關する特別委員會
一、農村生活救濟に關する特別委員會
一、金融機關整理に關する特別委員會

等で金解禁問題、國債整理問題は別箇に何等かの形式を取つて愼重に研究する方針であると

けさ歸連の山本社長 直ちに甘井子視察
設計圖を前に鋭い質問飛び 各關係者汗をかく

山本滿鐵社長は撫順方面の視察および奉天訪問をなして、今朝八時二十分歸連した、山本社長は直に滿洲館に赴きパンに卵と云つた輕い朝食をとつて「けふは日曜日かぢや一つ甘井子の埠頭でも見にゆくから、各方面の關係者を呼んでくれ」と云つた調子で、午前十時自動車で大連埠頭に到り、こゝで岡、神鞭、小日山の三理事それに服部顧問(築港專門)佐藤鐵道部次長、藤井、笹原兩秘書を帶同して小蒸汽に打ち乘り、まづ新造石炭船

撫順丸 を隅から隅迄見てのち甘井子に赴いたのは十時四十分頃、甘井子は昨年八月起工し今や工事の半、これが第一期竣成は來年の五月下旬と云はれてゐるが目下甘井子の從業員(職員三十名、日本人傭員百名、支那人傭員百名外苦力約二千五百名)は晝夜ぶつ通しで働いてゐる、山本社長は小高い丘のテーブルに設計圖をひらかせて熱心に說明を聞いてゐる、こゝでは服部顧問、佐藤鐵道部次長、桑原甘井子所長等の各エキスパートの話を聞きながら細かい點を

指摘し てわたり合つて社長曰く「第一期分の九百萬圓は高いな、もう少し安くは上らぬか」と云ふに對して佐藤次長は「十三年も經つとこれで償却が出來る積りです」「もう少し早く竣工出來ぬか」「晝夜兼行です」その他、鋭い質問等が飛び出して關係者は汗をかくと云つた態、例へば「棧橋をこしらへるのに石炭の內容をよく吟味せずにこしらへるんぢやなんにもならぬ、塊炭は何パーセント積むか」等と云つた調子、倦むことのない精力ぶり十二時半甘井子の視察を終へてのち隨員諸氏及び各エキスパートと共に歸路につき大連ドックを

一巡し て埠頭に着き直に自動車五臺に分乘してヤマトホテルに赴き、こゝで晝餐をしため、尚午後からはうむことを知らぬ山本社長は「伍堂君でも招んで研究し合はうかな」さても恐ろしい精力である

威海衞租借地 返還問題交涉か
英公使赴寧の使命

【上海二十五日發電】英國公使ラムプソン氏は目下上海に在り二十九日當地發南京に赴き孫文移柩祭に參列の豫定であるが、支那側の情報に據れば同公使今次南下の使命は移柩祭參列以外に威海衞の租借地返還問題の交涉に在る、乃ち威海衞は曩に太平洋會議で返還に決定し其の後民國十四年に租借期限滿了となり、英國は北平政府との協定草案に基き國民政府との非公式交涉に於ても原則として返還すべきことを承認した、たゞ劉公島に英國軍艦を碇泊せしむる權利のみ要求してゐるのであるが、支那側は之を承認せず懸案として持越されてゐるものであつて今回之が後始末をなすため交涉を續行すると云ふのであるが、その成り行きは我旅大租借問題と關聯して日本としては相當注目を要する

滿蒙鐵道驛傳競爭

漢族に驅逐さるゝ 蒙古人種の悲境
注目すべき露國の對蒙政策

(第八信) 洮南にて 秋山紅班選手

◇古代蒙古民族の偉大なる俤すら窺ふことのできぬのが現在の內蒙古諸王族である。一昔前は鄭家屯、洮南地方一帶に蒙古人の姿を見受けぬことはなかつたが今では洮南では蒙人に逢ふことが珍しいのである。彼等は漢人のため次第に內蒙の奧地へと驅逐されつゝ民族的には何等意識はしてをらぬらしい。蒙古青年黨のうちには多少政治的に目覺めて來たものもあらうが、大勢を挽回する程の氣力と實力を有してゐるものは見當らない。

◇蒙古王族が斯く凋落したのは外でもない、族人階級の遊惰性が遂に今日をなしたのである。鄭家屯が左翼中旗達爾罕親王族、溫都爾郡王旗下の游牧地から開放されたのは光緒二年で、民國二年には縣が設けられた、洮南は光緒初年は全くの曠野であつたが、廿九年開放され三十年洮南府治が設けられ、三年縣制が施行されて洮昌道に編入になつてから、生存競爭に堪えられない蒙人は、漢民族のために土地を奪はれ自然に追ひ立てを喰つたのである

◇蒙古民族は漢民族の功利主義とネバリ強い侵略には到底敵はなかつた。其れは游牧民としての悲しさ、餘りに天惠に馴れて自然を謳歌するの氣力に乏しかつたからとて封建制度の弊害に王、族人等は稼ぐものが下層階級で人間のうちに這入らないと考へてゐることで、其の風習に着け込んだのが漢民族の賢い處であつた。漢族は民族混血の法を以て內蒙懷柔策とした、清朝の皇女が犧牲となつて嫁した如く、或ひは張作霖の長女が達爾罕王に嫁したやうに、女を餌にして巧に懷柔したのであつた

馬鹿た王さんは其れによつて全然民族的な考へは捨てゝ周圍の族人等は昔も今も同樣にとりまき連として漢族の文化に陶醉したのである。

◇斯くて洮南からソロン方面又は索泉(圖什業圖王府)地帶に支那商人等が侵入し洋雜貨物を賣捌き蒙古特產の牛、馬、羊皮等を物々交換的に取引して來るが、雜貨品は原價の十五倍程度で賣りつけ、皮革類は出來るだけたゝいて一圓のものなら七、八十錢位に値切つて來る、其のモノポリーな商取引には流石の王さん連も腹を立てゝゐるがどうすることもできない

◇洮南地帶に於ける支那移民主權者は邦人の居住を絕對に嚴禁し、あらゆる手段を講じて排日に努めてゐる。洮南唯一の大通客棧も既に家屋契約の期限が來たのを口實にして家主を脅迫し、遂に邦人との契約を破棄し營業のできぬやうに封鎖してしまつた。大體蒙古ばかりぢやない、滿洲に於ける支那人は大きい醜して領土呼ばはりをする權利は無い筈だ、根を糺せば移民であつて漢民族の橫暴政策に過ぎない

◇西村洮南公所長の說明によると洮南背後地蒙古貿易の將來は多少嘱望すべきものあり、一ケ年の輸出は七百數十萬圓に達し主なるものは畜產、藥草、甘草、曹達其他であるが輸入も亦六百萬圓程度であると

◇洮南縣城は周圍廿支里の土壁で築かれたうちにあり土を捏て造り上げた丈に、上から俯瞰すると市街の家屋が灰鼠の保護色をしてゐる、土質は非常に細かく雨が降つても浸透しない、だから土の家を造つても決して流されるやうなことはない、カチカチ山の狸舟をこの土で造つたなら難はあゝした悲慘な目に逢はなかつたらうとお伽物語を想ひ出す

◇支那服を穿いた鐵道省の加賀山局長一行が西村所長の話を聞いて全く感心し「百聞一見で蒙古氣分を味はつた」と悅に入る、蒙古游牧民の特別家屋——蒙古包を移轉する時は女が一人手で全部整理する蒙古人で勤勉なのは女であると所長の說明であつた

◇帝政時代のロシアも現在のソウエート聯邦も內外蒙古に對しては力強い露蒙合併の實現を期して支那の羈絆を脫せしめるの時があると確信してゐる。特に天山蒙古ノムールサンサに關する傳記を唯一の信條として蒙古を引きつけやうとしてゐるのである、慓悍性を有する蒙古民族と大和民族の血統的脈絡はロシヤの持つ因緣よりは深いのだが、日本人は蒙古人に對して冷淡で滿蒙——滿蒙と叫ぶものも其の蒙古に對する知識は極めて薄弱である、この點はスラブ對蒙古民族の如くでないのは甚だ遺憾で鄭家屯の菊竹實藏さんが常に慨嘆してゐる重心點である。

親切な宿の女將の 言葉を噛み碎きつ鐵嶺へ
緣起でもない事を話す隣り客

(第八信) 鐵嶺にて 加藤白班選手

◇時計の長針の動きを凝然と感取する、鋭い緊張し切つた神經だ、空に散らばつてゐる星群にも勝利を歌號する。二十一日午後十時五十五分、バトンを受けて滿蒙驛傳競爭の白班は第二のコースに入つた譯だ、能勢選手の、[illegible]けた鐵に感謝して奉天驛第三ホームに待つてゐる四平街行列車の人となる、混合列車の悲しさは驛每に足踏みしながら進んで行く、たどたどしい足取りだ、脚違ひのないやうに行つてくれ、心に觀んで窓外を見る

◇沈んだ夜の色は重々しく只星が尾を引いて飛ぶやうに見える、黑い鐵路が二條長々と延びてゐる、昔見た映畫「ラ・ルウ」の鐵路が唐突に頭の神經を刺す。そのトタン車はコトリと最初の驛に着くウエンコワントン(文官屯)ねむさうな中國人のアクセントが苛々させる、虎石臺新城子小さい驛がしばらく續く、話題もなく興趣もなく車はたゞ單調に進んで行く許りだ

◇肩にかけた白だすきをマヂマヂ見てゐた隣客が話かける「あかの方が大分走つてゐるやうだすなあ一日に哩數が倍も違ふたら、あとからの開きが大きいですやろ」嫌な事を喋り出したもんだ。……しかも耳障りなことばなまりで……「そんな事はありませんよ、ありや止まらうと思つても車が止まらんのだから、哩數が增えてゐるですよ、結局白が行く時だつて同じでさア」「下らないと思つたが、斯う言つて橫になつた。そして奉天の旅館のおかみさんが「かつぶしをもつて行きなさい、緣起が好いからね」親切に云つてくれた言葉の端々をしづかに噛みくだきながら、とにかく鐵嶺までは、トロリと一寢入り……

「鐵嶺ですよ」、車掌君が起してくれる。十分間停車を利用して驛長室に飛び込み通過證の判を貰ひ、さてこの僅かなひまにも話は驛傳競爭に及び、その熱心さには感激させられた、自作のダイヤグラムを出して見せてくれる話に熱中してしまつて列車の出發ベルに促がされ大急ぎで乘込み開原指して進む、廿二日の午前一時十分だ。

けさ哈市發 海倫へ

秋山紅班選手

【哈爾賓秋山選手二十五日發電】東支線の時間改正による國際急行を利用し巧にボクラニチナヤまで引返しは豫定のタイムを以て進んだが、列車の都合が惡かつたゝめ八時間同地に滯留させられ空しく地團駄を踏んだ、斯くて廿四日午後八時半發、楠瀨夫人の情で作られた茶飯の握り飯に末廣高崎居留民會代表等の見送りを受けてハルビンに向ひ廿五日午後五時四十分ハルビンに着す、同夜貨物列車で海倫に向ふ豫定であつたが、之れは運轉休止のため已むを得ず北滿ホテルに一泊した、廿六日午前九時發呼海線を踏破し海倫一泊の上南下の豫定である

英米トラスト 青島工場罷業

【青島二十五日發電】英米トラスト青島煙草工場女工の大部分は外部の共產派の煽動で二十四日より罷業に入つた

人事

▲木下謙次郎氏(關東長官)夫人同伴二十六日出帆の香港丸にて內地へ
▲春日善之助氏(同秘書官)同上
▲土屋正三氏(內務省警保局書記官)同上
▲小山正春氏(關東軍司令部附陸軍砲兵大尉)同上
▲佐賀縣伊萬里商業學校生徒三十九名 同上
▲香川縣木田農學校生徒七十二名 同上
▲青島第二小學校兒童三十名二十六日正午入港の奉天丸にて來連
▲山田讓氏(大連民政署關稅主任)同上
▲神崎正助氏(營大公司專務理事)同上

天氣豫報

廿七日(晴れ)南の風 一時曇り
日出四時三十二分 日沒七時九分
滿潮午前なし 後零時二十五分
干潮前五時三十五分 後七時十五分

五月の空晴れて 勇み立つ大連市民

スタンドの聲援に場内大賑ひ 第三回市民運動會

紺碧の空に微塵の雲もなく、初夏の風快く吹いて、譚家屯大連運動場の四周を飾る無數の彩旗に本社旗へんぽんとして來會者を招く、場内メーンスタンドに翻る日章旗、記錄板側に高く揭げられた會旗は、共にこの日の平和で健全な催しを祝福するもののごとく、悠揚として微風にはためく、大連市主催本社後援の第三回大連市民運動會はかうした絶好のコンデションに迎へられて、豫定通り、二十六日午前八時から開會された、定刻前から競技のトップである百米突レースに出る小學生を始めとして一般の觀覽者は、運動場停留場前に電車が停まるごとに、水の噴き出るやうに吐き出されて新綠滴たる步道に糸を引いたやうに續く

百米競走に元氣な石本市長

競技は順調に進んで 思はぬ興趣に大喝采

定刻石本會長、貝瀬審判長その他の役員全部參集、石本會長よりマイクロホンを通して開會の挨拶、貝瀬審判長より競技上の注意があり、嵐のやうな

拍手 子供たちの黄色い聲援に迎へられて小學生男子尋常五年の百米突から競技が開始された、競技の一つ〳〵に子供も大人も聲援聲援ワアツ〳〵といふ賑やかさである、學生及び一般の百米突が濟んでフイルドで走り跳が始まり、一般の提灯競走が終る十一時頃には、櫛の齒を引くやうに

絡繹 として運動場に押寄せる人の波は眩ぐるしいばかりだ競技は流れるやうに進んで正午頃にはスタンドの大部分は見物人で埋められた、競技中一般では消費組合から綠川、長澤、宗正君等が飛出して一着を占めたり、大連一中、二中の先生たちが三十六歲以上の百米突レースになつたり、

對校 レースになつたり、期せずして〳〵興趣が多くスタンドに喝采が起る、中でも面白かつたのは石本市長の百米突レースで洋服のヅボンを膝までまくりあげ素足で走る、とても六十八歲の老翁とは思へぬ大元氣だ、このタイム二十二秒五分の一であつた

各競技の一着者

午前中の分

各競技の一着者は左の如くである

▲百米一着者 △小學生五男 鎌田正惠、中村忠秋、吉田滿喜男、内海利雄、竹川昌平、廣崎和夫、西郷信男 △小學生六男 鈴木正次、緒方一美、辻常雄、上野孝 △小學生高一男 齋藤二郎、增子孟子 △同高二男 小林裕二、松下肇 △同尋五女 新宅雪江、高橋玉子、的場佳子、中尾壽江、日塔益子、水越惠美子 △同尋六女 時計安喜子、伊藤幸子、小田淑子、藤森ヨシエ、山内ハツヱ、伊藤糸子 △同高一女 水野文江 △同高二女 土方キミ △女學生 川崎かよ △學生 富田辰彥、山崎清、塚堀輝夫、松岡司、增田信、内山健介、山崎長三郎、山崎義男、多田益太郎、赤堀明、片山義明、麻生利夫、鈴木忠夫、坂田恒夫 △一般 針間晃、櫻井元男、增田茂、佐藤信一郎、衣笠止、川野公、高橋愛二、尾田文雄、森高植、入江猛、瀬戸完一、岡本信男、大久保勇、渡邊太郎、綠川郁三、石村保、外山包男、坂出通、杉山巖夫、島田行正、粟栖昌、比良次郎 △學生八百米 竹園正續、小林滿洲吉、石田直正 △一般 關根岩雄、中島保、萩原貞夫、青山辰七、新城廣三、菅澤兵太郎 △學生走巾跳 增田信、港川拾三 △一般 針間晃、岡村五郎、西本桂一郎、菊野景盛 △提灯一般 佐藤四郎、山城俊夫、田村芳太郎、山本久、鬮谷良作、外山包男、持留仁藏、圖師文雄

快い銃聲に市民射擊會賑ふ

けふ春日池畔で開催

本社後援第二十九回市民射擊會は本日八時より春日池射擊場に於いて催された先週日曜日は天候險惡の爲め不幸中止延期されたが、本日は風も和かな絶好の射擊日和で朝早くから學生團體、各警察署員、在鄉軍人一般愛好者續々詰めかけ初夏の微風に戰ぐ芝生の上に伏せつて若葉薫る山に快い銃聲をこだましてゐた午前中既に二百二十八人を受付け熱心に朝から委員控所に詰めかけてゐた岩井少將もにこ〳〵してゐた午前中の成績左の如し

▲特別一等射手四十二點田切七郎、四十點西村榮 ▲一般射手四十一點西那宗三郎、三十九點常包勝次、三十九點佐藤良吉 ▲學生射手三十五點河野榮一郎、三十一點藤原正雄、三十一點内藤浩

デヴイスカツプ日米戰

安部太田共に敗れて 日本は遂に失格す

四對一の成績を以て

【ワシントン特電二十五日發】デヴイスカツプ戰アメリカゾーン第二ラウンド日本對アメリカ戰安部對ヴアンリンのシングルスは安部の奮闘もアメリカのエースヴアンリンに向つては力及ばず第二セツトを奪ひたるも遂に敗れたスコアは左の通り

安部 六―二、四―六、三―六 ヴアンリン

【ワシントン特電二十五日發】昨日のデ盃戰で對ヴアンリントンとのシングルスにおいて勝利を博した太田選手は本日の對ヘネシイのシングルスにも多大の期待がかけられて居たが、ストレートで破れ日本は四對一の成績で本年度デ盃戰から敗退する事となつた、スコア左の如し

ヘネシイ 六―三、六―一、六―三 太田

試合前に疲勞の色

大統領邸に太田、安部出場

【ワシントン特電二十五日發】本日のシングルス戰において日本選手安部、太田共に時々鮮かなロービングを見せ鋭いバツクハンドのクロスコートドラブを出したが、最後までその堅實さを持續し得なかつた、午前中試合前に太田は米國選手マセイと組んで大統領官邸コートにおいて「アリソン、ホール」組のダブルスのエキジビシヨンマツチを行ひ太田は更に安部と組んでヘネシイ、ヴアンリンとダブルス戰を試むるの相當の疲勞の色が見えた、フウヴア大統領は差支えあつて顔を見せなかつたが大統領夫人は熱心に見物した

滿洲が生んだテノール歌手

平間文壽氏獨唱會

既報の如く若きテナー平間文壽氏は本社後援のもとに二十七日(月)午後七時半から協和會館で獨唱會を開催する。氏は旅順中學出身で、東京音樂學校を出ると直ぐに伊太利ミラノ音樂院で三ケ年修學した天才的歌手で、吾ら滿洲在住者にとつては眞の意味に於ける吾らのテノナーである。氏の不斷の精進によつて、その藝術は近來頓に大進境を見せ、殊に先月日本青年會館で催された松平里子、佐藤美子氏らのボーカル、フオーア合唱團に早川美奈子氏らと共に唯一のテノール歌手として、賛助出演したが、マダム、バツタフライの全曲は氏自らも快心の出來榮えであつたと言つてゐるが、聽衆の内外人は口を極めて氏の藝術を激賞し殊にベツツオールド教授の如きは、感極つて氏の手をとり「あなたは日本における唯一の眞の意味におけるテノール歌手だ。何んといふ素張らしい出來であらう…」と賞めちぎつたと言ふ話である。二十七日の獨唱會に於ては氏が最も得意とする歌劇ものをも併せ演奏するから、恐らく氏の眞價はこれによつてその片鱗を覗ふ事が出來やう。

主催者側での、前賣切符で素張らしい前景氣を見せてゐるが、當日朝から社員倶樂部でも座席の豫約切符の發賣をするが、會費は大人二圓、小人學生五十錢の所、滿日讀者の爲に本紙刷込みの割引券持參者及滿鐵社員に限り大人一圓、小人五十錢に割引く事になつてゐる。滿員にならぬ前に御需めありたい。

演習中の我が兵に支那巡警が發砲

昨夜、奉天鐵西で暴擧

【奉天特電二十六日發】奉天駐剳獨立守備隊第五中隊が廿五日午後九時頃奉天鐵道西方一キロの地點にある瓦房附近に於いて北村特務曹長指揮の下に野外演習中魯官屯西方墓地中から突然支那巡警らしき者三名現れ我軍に對して五六發々砲したので直に之を包圍し三名共逮捕の上憲兵分隊に引致し現場取調中である

右は綏城縣公安局第五分局魯官屯分所長于福臣巡警長慶吉同劉玉祥と云ひ彼等の申立に依れば前日其附近に馬賊が出た爲之を搜索中我軍隊を馬賊と見誤つて發砲したと云つてゐるが其夜は月夜で僅か二十歩の距離の處であり我軍隊と知りつゝ發砲した形跡があるので憲兵隊では小銃三個拳銃一個佩刀一本及彈藥函四個を證據物として奉天總領事館に屆出で嚴重交涉すると

檢疫船を橫付せぬ

入港定期船に

既報の如く定期船の岸壁到着の時間を短縮するため商船側の要望により海務局では檢疫船を本船に橫付けせぬことに二十五日決定した從つて水上署としてはその職務上署所有の船を出すこと〻なる筈であるが、新聞記者その他の關係者は水上署乃至は滿鐵の船に便乘しなければならぬこと〻なつた

映畫講演會

警視廳檢閱係長 橘 高廣氏

一映畫の見方 一般フアンの爲に(幼少者は御遠慮下さい) 五月二十八日午後七時半より大連滿鐵社員倶樂部二階食堂に於て

一教育映畫に就いて 一般教育關係者の爲に 五月二十九日午後七時半から大連滿鐵社員倶樂部二階食堂に於て

注意 參考資料として兩夜とも滿洲映畫ニユースを封切上映します【入場無料】

主催 滿洲日報社 後援 滿鐵情報課

神社移轉工事場で血の雨を降らさんとす

また本溪湖神社移轉問題惡化

【奉天特電二十六日發】本溪湖神社移轉問題に就いては豫て贊否牛し紛糾を續けてゐたが廿六日午後零時五分移轉反對の三十名は地均し現場に驅け着け工事を中止せよと迫つてゐる處へこれを聞傳へた贊成派は約數十名赤襷を掛け手に〳〵棍棒を携へて對峙し今や血の雨を降らさんとしたが警官急行し、反對派十一名を檢束して漸く取鎭めたが奉天國粹會幹部二名は關東廳を訪れ尚善後策を講ずると

小學生の百米レース

けふの大連市民運動會

滿洲の犯罪調べ

馬賊の被害は州外に多い

詐欺と恐喝は州内 保安課昨年度の被害額調

關東廳管下に於ける昨年中の強竊盜、詐欺、恐喝、橫領件數およびその被害額に就き關東廳保安課に於て調査中であつたが、州内外を合計して件數は匪徒三十三件、馬賊二十一件、海賊六件、その他二百七十八件、竊盜九千八百七十四件、詐欺および恐喝八百三十八件、橫領四百九十五件で、この被害額は匪徒一千百十四圓、馬賊四千二百九十七圓、海賊六百九圓、その他五萬七千百六十二圓、竊盜四十五萬二千百三十六圓、詐欺および恐喝十四萬九千五百三十五圓橫領二十八萬八千五百二十四圓である、この中匪徒と海賊の件數および被害額は州内のみで、馬賊と竊盜は州外多く、詐欺および恐喝は州内橫領は件數に於て州内多く被害額は少いと

拘留と科料 總潔へ 一萬五千餘人

關東廳管下各警察署で昨年中拘留に處斷した人員は日本人三百七十三名、支那人一千四百六十五人、外國人七人、計一千八百四十五人で、科料に處斷した人員は日本人一千三百九十一人、支那人一萬四千三百九十八人、外國人百九人、計一萬五千八百九十人であるが、これを月別にすれば

▲拘留人員 一月百八人、二月百四人、三月百六十三人、四月百三十四人、五月百六十七人、六月百九十三人、七月百十八人、八月百五十六人、九月百五十四人、十月百七十七人、十一月百八十六人、十二月百八十五人

▲科料人員 一月六百六十五人、二月千四百二十一人、三月千八百十八人、四月千四百九十一人、五月千二百五十五人、六月千七百六人、七月千二百十七人、八月千五百七十二人、九月千三百八十九人、十月千百七十八人、十一月八百九十三人、十二月千二百九十三人

竊盜犯人逮捕

四月廿一日大連市八幡町四三森岡留造方の盜難事件の現場模樣から犯人は大連市吉野町八五金工舍方店員松尾潔(二〇)の所業ではないかと目星をつけ大連署で同人を搜査中であつたが廿五日前記金工舍にゐるのを發見任意署に同行取調べた所留造方より銘紗反物二反ほか二點時價三十圓餘を竊取したことを自白したので目下留置引續き取調べ中である

殺人事件が昨年中に卅三件

一番多いのは竊盜犯

關東廳管下における昨年中の犯罪件數は一萬八千百八件で檢擧數は一萬七千五百二十七件であるが、この人員は日本人二千九百九十一人、支那人一萬五千百一人、外國人三十三人、合計一萬七千百四十七人で、この中最も多いのは竊盜で犯罪件數四千五百九十七件に對し檢擧が四千百四十五件、この次が警察犯處罰規則違反で犯罪件數二千五百六十一件に對し檢擧數二千五百六十一件である、血腥い方では殺人が犯罪件數三十三件で檢擧三十件、傷害犯罪二百七十一件に檢擧二百七十一件、艶めかしい方では猥褻姦淫及重婚の罪が犯罪件數廿一件で檢擧廿件、墮胎の罪が犯罪件數一件檢擧一件である

◇……大西洋橫斷飛行の途中より引返したツエツペリン伯號の遭難は過日專門技師が檢査せる結果ツエツペリン伯號の遭難は過勞に因るモーターの損傷に基因せるもので意薬云爲は問題とするに足らぬことが確められた旨公表された【フリードリヒスハーフエン廿五日發電】

◇……來る六月伯林に於て開催される萬國婦人參政權大會及びジユネーブで開かれる國際勞働大會出席のため北村兼子女史は赴歐の途次廿四日安奉線急行にて奉天經由伯林に向つた

◇……旅順管内柏嵐子屯の漁夫田恒存は去る二十四日朝同地海岸で波間に漂流する三十石積位の戎克を發見し大きな拾得物として派出所に屆出た

東洋ホテル開業

市内伊勢町篠田利三郎氏は大連ビルブローカーの旅館を利用し子息東一君の經營で去る十七日から東洋ホテルを開業したが來る廿八日午後六時から披露の宴を開くと

コドモページ

修學旅行記　待ちに待つた出發の日が來た

大廣場小學校六年生　佐々木一正

朝飛び起て、今日の天氣はと思つて、外に出てみると朝日がきらくとかゞやいて、空には一點の雲もない。

お母さんに「旅行の用意をしておいてね」と言つて家を出た。學校に行くと皆旅行の話をしてゐる。朝會のりんがいつもとちがつて大きくリンくとやかましい程鳴り出した。朝會もすんで一時間の勉強に取りかゝつた。胸がどきどきして一つも出來ない。時はだんくと立つて六時間の授業もすんだ。

いつもフツトボールをして遊ぶ僕が今日は何一つしないで家に歸つた。くるしい息の中から「たゞいま」と言つた。そしてお母さんに「旅行の用意は？」と聞くとお母さんは「今出來ました、お前のすきなお菓子を買つておいで」とおつしやつたので三十五錢持つて自分のすきなのを買つた。ちようどそこへ贄川君も來た。「何を買ふの？」と聞いたら何でもないよと贄川君は答へた。「散ばつしてもらひに來たのよ」と言つて僕の内に入つた。あとで僕もしてもらつた。時計の針はえんりよなく進んで行く。

やがて時計が八時をうつたので向ふの叔父さんやお父さんや、お母さんに「いつて參ります」と言つて贄川君と學校に行つた皆うれしいのか講堂を飛び廻つてゐる。僕もいつのまにか足がおどつてゐた。ふと皆が「先生がいらつしやつた」と言つたので、後をふりむくと校長先生がニコく顏でいらつしやつた。皆は一班、二班三班、四班と次々に並んだ。そして少し話があつた。時計が八時三十分を示したので學校を出た。驛に來ると鹿森さんの叔父さんに會つた。叔父さんは「これは小使錢ですよ」と言つて五十錢くれた。「ありがたう」とれいをのべて汽車に乘つた。たくさんの先生方が見送りに來て下さつた。きてきがなつた。それを合圖に汽車は勢ひよく動き出した。

汽車の中で　一夜は明けた

藤根次郎

「横井君もうねようよ」と言つたがなかくねむれない。二、三班あたりで、くすく笑ひ聲が聞える。皆うれしいのだらう。横井君が、こくりくはじめた僕も間もなくね入つてしまつたしばらくして、目が覺めた。ゴツトンと或驛に着いた。くらくてどこだかわからなかつた。先生はねもしないで、皆の様子を見廻つておられた。僕等のおきたのを見て「まだ一時だから、ねてゐなさい」と注意して下さつた。仁丹を八つぶ程かんで又ねた。おきた時は少し明るかつた。横井君もおきた。又話しだした。「おいもう何時頃かな――」「まだ四時頃だらう」「君ねた？」「ガタくいつてちつともねむれなかつたよ」「もうめんどうだからおきやうよ」などと言つてゐる。皆胸がおどつてねむれないらしい。荷物をしまつて本を讀んでゐた。シュツくポツポと廣い野原に氣持よくひゞいてゐる。だんく明るくなつてゆく。大平山をすぎて、大石橋に着いた。皆おりて顏を洗つた。とても氣持がよかつた。それから御飯を食べた。汽車にゆられてゐたので大へんおいしかつた。皆外をながめたりハーモニカをふいたりしながら、待ちどうしそうな顏をして汽車にゆられて行つた

娘々祭座談會（上）

【大石橋小學校高等科生】

娘々祭の面白い傳説

毎年舊暦四月の十六日から三日間大石橋近郊の迷鎭山で行はれる滿洲名物の娘々祭は本年は本月の廿四日から行はれましたが大石橋小學校の高等科生徒は祭の日を前にして娘々祭に關する座談會を開催しました

司會者「これから娘々祭について座談會を開きます。御互ひ大石橋の住民として此の祭についての知識を交換する事は、大へん有意義な事だと思ひますから知つて居る限りを腹藏なく發表して戴きたいと思ひます」

辻本「一體、此の祭は何時頃から始まつたのだらう」

片桐「千二百年前に始まつたといふが、別に正確な記錄は無いやうだ」

辻本「何か當時の傳説といつたやうなものは無いだらうか」

片桐「僕はこんな話を兄さんから聞いた。昔一人の若者が、營口から大石橋へ鹽を運ぶために車を曳いて來たが、途中で、花を欺くやうな三人の若い娘が、疲れた足を引づつて歩いてゐるのに追ひついた。「何處へ」と聞くと、三人の娘は丁寧に「大石橋へ參ります」と答へた。そこで若者は「自分も大石橋へ行くのだから、疲れてゐるなら此の車に載せてあげやう」と勸めた。娘は幾分不安に思つたけれども結局、若者の申出に從つて車に乘つた。若者は、重くなつた車を、汗を流しながら、それでも元氣に曳いて來た。車が大石橋の近くの山の麓まで來た時（その頃山の麓は一面の海であつたさうだが）どうした拍子か動かなくなつてしまつた。娘は「もう此處迄來ればあとはどうにかなります。どうか降して下さい」と頼んだ。若者が手を取つて娘を車から下してやると、三人の娘はかはるがはるこう云つた「あなたはほんとうに良い方です。近い内に福壽が來る事を祈りますよ」「それと同時に、あなたによいお緣談がまとまるやう妾は祈りますよ」「そしたら、可愛い、お子様がお生れになるやう妾は祈りますよ」斯ういつて三人の娘は、布三匹を禮に輿へて別れを告げ、手を取り合つて山を登つて行つた。若者が、車を曳く體を休めて振り返つて見ると、三人の娘は、山の中腹をわき目もふらずに上つてゐる。少し行つてから又振り返ると、娘達は頂きまで上りつめて休んで居る。三度振り返つた時には、娘は行儀よく坐つてお祈りをして居た。若者がジツとその氣高い姿に見入つて居ると不思議、不思議、娘達の全身から眩い光が射して、體は黄金色に輝いてゐた。若者は驚いて早速近在の人々に觸れ廻つた。村人は傳へ聞いて山へ登つて行つたが、その時には娘達の姿をもう其處に見る事は出來なかつた。そこで純朴な農民達は、廟を立てゝ、三人の娘を祭つた。これが今の娘々廟である」

一同「面白いなあ」

初夏の池畔

【鏡ケ池所見】

水々しい若葉に包まれた鏡ケ池の温るんだ水面には、初夏の日をしたふオタマジヤクシがまつくろに群て小さな尾をひらめかしてゐる。なつかしい初夏が來たのだ。

◇

……水邊の柔い土からは草の芽がゆたかに伸び、青葉の薫りの一ぱいに流れてゐる水の上には子供達がボートを浮べて樂しさうに乘り廻してゐる。水にぬれたオールが時々陽を受て若葉越しにキラリキラリと光る

◇

岸の方では小さな子供達が水をいれた罎を片手にしきりにオタマジヤクシをすくつてゐる。

◇

……すべてが初夏らしい情景だ……

海軍記念日當日の　各學校の催　講話に競技に運動會に　當時の激戰を追憶する

明二十七日は日露戰爭の時に我艦隊が露國艦隊を日本海に於て撃ち破つた意義深い記念日です此の日各學校では當時を追憶する爲め日本海々戰に關する記念講話及び其の他の催しなどがあります。

小學校側では伏見臺校は先生の講話後少年野球仕合、朝日校は午前八時から青島攻撃及歐州戰爭に參加した海軍の兵隊さんの講話、日本橋校は古川先生の講話、常盤校は講話後西公園で全校生徒の大模擬戰、大廣場校は八時から記念講話、春日校は海軍々人の海の戰ひの話をきいた後全生徒は午後四時半から鏡ケ池で行はれる海軍協會主催の模擬軍艦水雷爆破の實況を見學、松林校は八時半から驅逐艦「槇」乘組瀨尾海軍中尉の記念講話、南山麓校は八時から記念講話、九時から校庭で小運動會を行ふ嶺前校は八時から記念式九時から小運動會聖德校は八時半から海軍々人の講話、沙河口校は八時から日露戰爭の實戰に參加した習田海軍將校の講話、大正校は八時から先生の講話が夫々行はれる。それから中學校側では一中は九時から槇乘組の小關大尉の講話、二中は椿乘組の安田大尉の講話、尚當日は同校職員のテニス會がある。神明高女は記念講話、彌生高女は校長の講話の後校庭で全校生徒の競技會を行ふ。商業校は午前九時から槇乘組新美少佐の日本海々戰に關する最も趣味ある講話がある

ニドメノ　大チャンノタンケン（53）

ハルミチ作　ジラウ畫

バクダンハ　オソロシイオトヲ　タテテ　ハレツシマシタ。ソシテ　シロイケムリハ　モウモウト　モリノナカニ　タダヨイマシタ。

大チャンハ　[illegible]

シロイケムリハ　スツカリ　キエテ　ソノアトニ　モリノマワ[illegible]ノ　オホキナカラダガ　キノモトニ　ヨコタワツテヰマシタ。

金剛呪門（250）

山中峰太郎作　小田富彌畫

灰

その日の夜……天龍寺から西陣へ歸つてきた數之助は、一時に憂鬱に沈んだ。

……あゝ、生！

……彌生か由あるお公卿の姫であつたとは！

舞妓を十合の家へ入れることはならぬと、父からも、母からも、きびしく意見されたのだけれど、血統は正しい高家の生れではないか。その彌生が常寂寺に……

それを思ふと、心のみだれを靜め得ない數之助の憂鬱を、そばから直に、覺らずにはゐられない戀のお京は、自分にあてられてる八疊の部屋に、入つてくると獨り崩れるやうに坐つた。

……あゝ、何か今日、天龍寺の往來のうちにあつたのに、ちがひない。

おもひ煩ふ自分も沈みながら、庭の木立を掠めてゆく烈しい風の音さへ、お京の胸に辛くしみた。

戀ひの叶ふ日も遠くはない……とそれとなく、重兵衞とお初の氣ぶりから、恥づかしくも知らされてゐる昨日今日に、その今日の數の助の氣憂とさが、ひとしほお京の氣になつた。

吹きつる風の音を聞きながら、やがてお京は夜具を伸べた。スルくと解く帶さへも、もどかしく、行燈の火を手で消すと、惱ましい吐息も洩れて、ふけゆく夜にも眠り得ずに、幾度か寢がへり打つてゐるうちに、いつしか苦い眠りに入つた。

西陣の夜ふけ……甍をかすめて吹きすさむ風に、もまれる木の繁ざわめく梢の多い十合の庭へ、忍びこんでゐる黒影が、風上の臺所の方へ、暗にまぎれてツ、、と走つた。

と、そのまゝ消えて暫くした時臺所の裏口から椽の下へ、匍ひつゞけた黒影が、中庭へ出てまた消えた。そこに忽ち、臺所と中庭の椽の二ケ所から、パツと燃え上つた炎に映しだされた男は、まさしく乙藏である……

風にあほられて消えかゝつた炎が、横に積み重ねた薪に移ると、一時に大きく燃えひろがつた、庭の木立に隱れながらそれを見た乙藏、凄くニタリと笑つた。

……見やがれツ！、叶はぬ戀の意趣ばらしだ！

……ヤイ、十合！、灰になれ！

お京への横戀慕……それが叶はぬ呪ひと妬みに、狂ふばかりに心を曲げた乙藏、江戸へ歸れと佃に言はれて、今はなほ自棄になつた……最後は、こゝに火を放けた……

二ケ所に上つた炎は、風にあほられて魔の如くに邸を包んだ、火の足早く四方に廻つて、皆が起きた時は、すでに遲かつた。

何一つ持ち出す遑もなく、煙の中に呼びつ呼ばれつする皆が、漸く外へ逃れた時、ドツと母屋の軒の燒け落ちた。

眞先に駈けつけてきた桂五郎、

「もうだめだ！」

炎の中に十合家……消しようもない火の手を見ると、風下の家を破壞にかゝつた。手下の皆が、桂五郎の指し圖で風下へ走つた。

燃えひろがつた西陣の大火に、火もとの十合は、跡もなく灰になつた。

その翌朝、漸く鎭まつた火の跡へ、やつれきつて來た重兵衞、それに佇んでゐる桂五郎を見ると、

「桂五郎さん、此の度は、えらい事になりました、何とも私は……」

さういふ聲さへ力なく震へた。

「あゝ大旦那さん、けれども、どなたも御無事でございましたから それだけは、まア何よりと」

「さう思ふて諦めてゐますがな……」

「あの金剛盤は、しかし……？」

「さアな、鐵の箱に入つてるんであればかりは無事やと思ふけれど何せあれさへ出す隙がなうて」

「では探して、オウイ、皆來たツ！」

燒け跡のまだ灰の熱い中を手下と共に探しだした桂五郎、やがて奧座敷の土臺石のそばにその鐵箱を見當[illegible]

ために、さしも稀代の至寶たる金剛盤も、七ツの金剛石と大理石の玉と共に、灰になつて空しく鐵箱の中に、たゞ白く殘つてゐた……（をはり）

發聲映畫雜話（一）

矢野クニ

我々は近代科學が生んだ驚異すべき作品を多數に持つてゐるが、中でも今日映畫界に一大センセイションを捲き起してゐる發聲映畫を覗いて見よう。最近の發表に依ると米國は今後ユ社を除いて發聲映畫でなければ造らないと云つてゐるし、我國でも製作とか契約とかに血眼になつて騒いでゐる様だ。モダーン味豊な發聲映畫がモダーン人に歡迎される理由は筆者がこゝに今更書きつけねばならない必要も無いであらうが發聲映畫の出現によつての有難味は、それは良いとして、一方色々の悲喜劇や様々の惱みを冒頭に展開するのは少し遠慮して後廻しにしよう。

さて一九二五年二月、彼の三極眞空球の發明者として有名なリド、フオレー博士の發明に係る發聲映畫をフオノ、フキルムと名づけて世界に發表して映畫界に一大革命を齎すと共に、其の興行的價値を認められてから四ケ年と三ケ月餘の月日が流れてゐる。そして同年の九月には早帝都に於て試寫され、一年有半の後高地大連劇場に於ても公開され、其の巧妙なる發聲に驚いたのであつた。最も各地を試寫した爲めフキルムをいため、從つてこれが原因で或部分け雜音が多く、又映畫と云ふよりも寧ろ寫眞と云つた方が適切であるが、發聲映畫の如何なるものであるかを説明する爲めに撮影されたものであつたゞけに、多くはワン、カツトでカメラのポジシヨンが狹かつたとか、テンポがなつてゐなかつたとか、聲は發しながらも如何にも生氣に乏しかつたと云ふ不滿や、映寫技師未熟等によつて甚だ殘念に思はれた點も多々あつたが、しかし是等は許さるべき事であつたと思ふ、尚其後我國で製作されたものが一度上映された様であつたが見なかつたのは遺憾であつた。

次に發聲映畫發明の沿革と、これは又少しく細々としてゐるが、簡單に其の撮影と映寫等について常識と云ふ程度で少しばかり述べて見よう。

「パパ。何うして寫眞から聲が出るのツ。ヨウ」

「聲が出るから出るんだよ」では近頃の子供は承知しない。

映畫と演藝

童謠民謠舞踊大會　淺野研究生一行が來演

小倉市の特志家淺野喜平氏の獻身的努力と藝術的理解を有する市民の後援と石井漠、野口雨情氏等藝術家の指導になつて培はれてゐる純藝術團體ノ淺野童謠民謠舞踊研究所はその可憐な少女達の純眞な表現と洗練された技巧により九州の名物として小倉節と共に多大の賞讃を博してゐるが、今回滿洲見學旁來連するのを機として大連滿鐵社員倶樂部並に大連高等音樂院舞踊科主催滿鐵社會課後援で來る廿八、九日兩夜七時半から協和會館に於て童話民謠舞踊大會を催すが會費は大人七十錢少人三十錢會員外一圓小人五十錢である

▲近く劍戟團の梅澤昇一座が歌舞伎座に來演することになつた▲また松本泰輔の實演隊は松本の代りに帝キネのベビースター杉村チヱ子が來演するとのこと▲野球が始まるといふのに押すなくで次から次へやつて來るが今年は內地の夏枯れが早いらしいといふ噂が立つ。

治淋藥王

りん病藥
絶對有効
リベール
RIBEL

The Most Powerful and Reliable Medicine for Gonorrhoea.

服藥初日 尿道に潜む無數の淋毒菌に對し直ちに殺菌作用を行ふ

二日目 黴菌は著しく破壊されてゐるそれ故膿も痛みもみごとに止る

三日目 大部分の菌は完全に破壊されてゐる

四日目 菌の破片を散見するに過ぎず

五日目 痕跡を認めず心配御無用この通りに氣味のよい程よくなる

効力絶大
五日分のめば
キットよくなる

効力本位の**特製リベール**は現代に於ける最高權威の治淋藥として内地海外の到る處に於て絶對の信頼を受けつゝあり

特製リベールは强力殺菌藥に特殊の技術を施し化學的作用に由つて巧みに配劑したもので腸粘膜よりの吸收作用極めて迅速に行はれ服藥後の効果は敏速に顯はれてくる

本劑の優れたる點は

一、服藥翌朝速くも尿の色は藍色に變じ强き**リベール**の臭氣を放つて排出する、此時速くも著明なる効果を自覺する

一、尿道にウヨ〳〵してゐる無數の淋毒菌はこの化學的變化に基く藥劑のために悉く殺菌され尿と共に忽ち排出されてしまう、だからウミ痛みは夢の如くに去る

一、異國人種よりうけたる病毒は極めて猛毒性を帶び頑固なるが故に平凡なる治淋劑にては寸効なし、然るに**特製リベール**はこの猛毒性淋菌に對しても易くその目的を達し病菌の絶滅を完うする、内外人間に信用篤きは之が爲なり

一、腸障害及副作用なし

悩める人は今直ぐ五日分試みられよキット滿足なる結果を見て悦ばれることを保證する。

警告

◆お買求めの際は必ず**特製リベール**と御指名あれへんてこな治淋劑を言葉巧に勸められても決して迷ふてはならぬ若し品切の節は特約店か本舗へ直接申込みあれ。

藥價

特製リベール

五日分	金貳圓
七日半分	金參圓
十三日分	金五圓
廿七日分	金拾圓

輕症用

五日分	金壹圓
十日分	金貳圓

送料 内地 金十二錢 海外 金四十五錢 代引 金廿八錢

大阪市東區南久太郎町堺筋
發賣元 竹村製劑所
藥劑師 竹村幸次郎
電話船場一五〇番
振替大阪三六〇番

内地海外到る所の藥店に販賣す

リベール

効力絶大

蔣介石氏援助のため東北四省より出兵か
平津地方の地盤回收をも圖る
卅日首腦會議で決定

【奉天特電二十六日發】張學良氏は蔣介石氏より出兵要求の電報頻りに到る爲め張作相、萬福麟氏等の來奉を待つに先だち昨二十五日最高幹部會議を召集の上討論の結果、東北四省の政治經濟上出兵反對論者もあつたが張學良氏左右の人々は多く積極主義なるため、遂に蔣介石氏援助の爲め出兵に決し出來得べくんば平津地方の地盤回收を圖り、四省の積極的保境安民主義を確立すべしと云ふことゝなつた、その爲め廿七日開催の四省巨頭會議を三十日に延期して各將領の來奉に便にし、萬一それ迄に都合惡き際は各代表の派遣を乞ふて是非決定する筈であると

馮玉祥氏下野して入露說傳へらる
韓石兩氏討馮軍を鄭州に集中
南京政府の宣傳か

【上海大矢特派員二十六日發】當地支那新聞の報ずる處によれば馮玉祥氏部下の韓復榘、石友三氏等は廿二日附で中央擁護を表示せる通電を發したが、更に二十四日馮玉祥氏討伐のため兵を鄭州に集中しつゝありと中央に電報して來たと云ひ、また一方では馮氏は環境不利な爲め下野して部下を鹿鍾麟氏に托しロシヤに赴かんとして居るとの事である、右が果して事實なるや或ひは南京政府側の放ちたる宣傳的謠言なるや眞僞今の處不明である

蔣介石氏も下野か
傳へられるその理由

【南京廿六日發電】最近支那人方面に蔣介石氏は孫文移柩祭終了後對馮玉祥戰爭の進行が面白く行かねば下野して政治的に時局解決を圖るべしとの消息が裏面的に有力に傳へられて來た、其の主なる理由は

一、各軍師長等が河南に入つて馮玉祥軍を討伐することを好まず蔣介石の專斷的態度に不滿を抱く者も少なくない

二、浙江財閥、交通系財閥其の他は武漢戰爭が終るやいなや又軍費を徵發されるので蔣介石の政權維持を望まぬこと

三、革命完成後內亂戰爭なしとの期待が蔣介石に依つて二つまで裏切られて一般民衆は蔣を信頼せず、人心漸く蔣介石を去らんとしてゐること

四、政界軍略及び國民黨の大勢漸次蔣介石に不利ならんとし、蔣派が左右兩派と連絡してまで蔣介石の失脚防止に狂奔してゐること

などで、此の形勢を感知した蔣介石氏は政府首席として各國使節の接見及び孫文祭を終つた後自身と馮玉祥氏と共に下野して政治的に時局を解決し、以て將來の再起に利せんとする措置に出でるであらうと云ふのである

韓石兩氏の寢返說は宣傳
國民政府側の離間策

【上海廿五日發電】馮系の韓復榘、石友三氏を討馮軍第十三路總指揮に任命したとの國民政府の發表は全く事實に反した離間策に過ぎぬことが判明した、馮玉祥氏は目下戰線を短縮し內部の結束統一を圖りつゝあり動搖等は一つもないと云ふ、且つ馮玉祥氏が直接動かし得る兵數は約十五萬で軍器彈藥等の供給も相當整つて居り訓練も行屆き各軍とも河南省內で實戰の經驗ある軍隊であると

白班加藤選手は今夜奉天に到着
紅班秋山選手は呼海線を征服
昨夜海倫に一泊

豫定の列車運轉休止のため止むなく哈爾賓に一夜を明した紅班の秋山選手は慌たゞしき假寢の夢を結びもあへず廿六日早朝松花江を渡つて馬船口驛に赴き、午前九時發の列車で呼海線を走り同日午後七時三十八分海倫に安着した、同夜は此に一泊翌廿七日午前八時發列車で海倫を出發同午後六時三十一分再び馬船口を經て哈爾賓に引返し同夜々行列車で長春まで引返し同地にて翌廿八日朝第二走者に後を繼ぐ事になつてゐる又白班の加藤選手は廿六日朝朝陽鎭を出發臺頭海龍を通過して梅河口より西安支線に乘り込み同日西安に到着し一泊した、而して今朝七時發直通列車で奉天に向ひ同日午後九時着奉直に某方面に向ひ出發する豫定

驛傳ゴシップ

◇所要時間豫想投票は一人一枚、且つ一人一票だけに限つてあるので投票者の多くは或は家族の名を書き、或は一會社總出で一人一票宛投ずるといふやうな方法を執つてゐるが、中にはリレー競爭豫想のリレー投票といふことをやつた向がある、即ち大きな會社官廳では大概幾日から幾日の間といふ見當を附けて置いて二三十分乃至一二分置きに豫想投票を作れば其の中のドレかゞ引掛からうといふやり方である

◇豫想投票はメ切られたが競爭は尙半の過程にも達して居らない果して今後幾日何時間かゝるか兩班の作戰本部でも全く見當が附かない、兎に角相當の狂ひがあるらしい

◇紅、白孰が勝つかといふ點が深甚の興味を集中してゐる、紅が先づ長驅して徐に白の細かいダイヤの遂行を觀望してゐるのは巧なやり方であると見るものもある、又之を反對に白が先づウルさい處を片付けて行くのが巧妙であるといふ向きもある、サア孰が當つてゐるか

投票一萬五千通
票數は六萬餘の見込

驛傳競爭所要時間豫想投票懸賞募集は締切期日たる廿五日夜までに無慮八千三百五十餘通の應募數に達したが同日投函して廿六日朝本社に到着したものだけが四千八百三十餘通の多きに達した、これ締切最後まで愼重にダイヤを硏究した人が頗る多かつたことを示したものであらう、斯くて同日夕刻までには更に千八百餘通を增加し合計して約一萬五千通に上つたが此の中には同封で二三票乃至十二三票を封入した分が極めて多いものゝ如く其の精確なる數は開封の上でなければ判明せぬが假りに一通四枚平均と見れば應募總票數は實に六萬の多きに上るであらう、此の投票は審査の嚴正を期するため驛傳競爭終了の日まで密封せるまゝ保管し競爭終了と同時に開封して公平に審査することになつてゐる

近く積極的に河南を攻擊
何成濬氏西山で語る

【北平二十六日發電】孫文移柩祭に參列した國民政府代表何成濬氏は今曉西山に於て左の如く語つた

馮軍部內には相當の軋轢あるものゝ如く二十五日開封、鄭州間で韓復榘、孫良誠兩軍の衝突を見た程で韓復榘、石友三兩氏は南京に代表を出して中央服從を願出でゐる、南京に在る唐生智氏は一兩日中に鄭州に歸り蔣介石氏も徐州に出で河南を積極的に攻擊し始める、山西軍は省境防備に全力を注ぎ閻錫山氏は當分鬪爭しないだらう、自分は當分北支政局の重大なるに鑑み北平に留まるつもりである

北愛蘭總選擧

【ベルフアスト廿五日發電】北アイルランド國會下院の總選擧の結果は本日殆ど全部判明した各派の當選者數は左の如くである

統一黨三四、國民黨一二、獨立統一黨二

即ち定員五十二名中結果の判明せるは右の四十八名で殘るはベルフアストのクウイーンズ大學區の四名であるが之れは全部統一黨より當選確實である此の四名を加へ統一黨を合計三十八名とすれば總選擧前に比し各派の議席增減は左の通りである

統一黨六名增、國民黨一名減、獨立統一黨二名減、勞働黨二名減

蔣馮間調停說を犬養氏否定す

【上海二十五日發電】蔣馮戰時に依る支那時局混亂につき支那人一部では犬養、頭山兩氏が兩者の調停に立ち平和的解決を勸告するとの說傳はつてゐるが犬養氏は之を眞向より否定し

全然國內的の問題に浪人の我輩達が調停を圖るとか嘴を入れるとかはもつての外である

と强く言明した、なほ頭山氏は六月五日出發歸國するが犬養氏は北平に赴くやも知れずと

支那の發達に努力を望む
歡迎會席上　犬養翁の挨拶

【上海二十五日發電】二十五日夜の重光總領事官邸に於ける犬養、頭山兩翁一行歡迎會には支那側からは上海市長張群、殷汝耕、重光總領事出席し盛會を極めたが、犬養氏は左の如く述べた

自分や頭山等が支那革命に骨を折つたと云ふのは當らない、自分達は支那の

革命こそ國民黨の爲にとか云ふ意味でなく日本に於ける自分等の政治的地位の改善とか同じ意味で國民革命の前途に就いて之を他所の國又は人の事とは思はず、東洋の將來の爲め努めたのであつて、此の點では孫文氏も自分達と同樣に考へて居り、日本の人口問題については我々と共に心配し互に激論を戰はしたものである、今日彼の國

犬養頭山兩翁
早稻田會に列席

【上海二十五日發電】在滬中の犬養、頭山兩翁は本日午後一時日本人クラブに於ける早稻田會歡迎會に臨んだ

出る釘を打つ
千遍一律の喧嘩
戰爭中に皮肉な祭典（下）
上海にて　大矢特派員

頭の出過ぎた蔣介石をたゝき込ませるため四方の英雄?が通謀して護黨討逆同盟なるものが出來たことは既電の如くである。その「護黨討逆」は張宗昌の「討赤」と選ぶところないから今更名分が立つの立たぬとの詮議は不用であるが、その同盟の首腦部の組合せの痛快さに至つては到底吳張聯盟なんどの比ではない。

× ×

曰く廣西派——李宗仁、白崇禧、曰く廣東左派——汪精衛、陳公博、曰く舊國民黨——唐紹儀、章炳麟、それに馮玉祥と四川の楊森、吳佩孚、更に品下つて二流ところになると河南の貸元樊鍾秀、陝西の親分賈瑚、山西の野武士弓富魁と言ふ連中まで駈け參じ、國民政府へ歸り新參の唐生智も連判に加はつてゐるとか、ゐないとか。…まづざつとこれだけ並べて見ただけでもその錚々たる點に於て日本の地震內閣なんどの及ぶところではない。

× ×

人も知るが如く舊軍閥的色彩の最も濃厚なる廣西派と修正派、社會主義者とも言ふべき廣東左派の茲兩年來の啀み合ひは到底妥協の餘地ありとも思はれなかつたが、それが一緖になつた。左派の御大汪精衛は所謂汪精衛文法で「護黨討逆共釋前嫌、於必要時即可歸國」と十六字の電報を打つて來た「共釋前嫌」がちつとも「護黨討逆」のためでなくて「陰謀取引」のためであることは言ふまでもない。

× ×

廣西派と馮玉祥との間に一脈の腐れ緣があつたことは今年の正月以來屢傳へられたところで廣西派が武漢で事を起す前には馮玉祥との提携諒解あつたとのことであるが、廣西派の旗色怪しと見るや馮は軍を湖北に送つて漢口の後方を脅やかし、廣西派をして蔣軍と一戰も交ふることなく武漢を放棄せしめた。然もそれはついこの間のことである而して馮玉祥と廣西派が今更「護黨討逆」は甚だ通らぬ話ではある。

× ×

更に又黃河流域に散在してゐる樊鍾秀と云ひ、賈瑚と云ふ、弓富魁と云ひ何れも彼等の土着的地盤は馮玉祥のために掠め取られ、天晴れ草澤の英雄が流寓の據るところなき今日の憂き目に遭つてゐるのもみな馮玉祥故である。にもかゝはらず不倶戴天の仇とも言ふべき馮玉祥とゝもに同じ同盟の下に在ることが奇怪ではなからうか。まして楊森、吳佩孚まで加入してゐると言ふに至つては論外の沙汰と言ふべきで、陰謀好きの支那人に陰謀の威力魅力の强さ、驚くに堪へたる次第である。これだけ多數の猛者どもが寄つてたかつて攻めかゝつた日には如何に鐵の彈丸に事缺かぬ蔣介石でもやつゝけられぬとは限らない。

× ×

事實蔣介石もモウぼつ〳〵年貢の納め時ではある。が蔣介石がやつゝけられることの當否はさて措いてこうした「陰謀取引」によつてもし蔣介石がやつゝけられたとしたならばその「陰謀取引」が民國革命史不朽の偉績と云ふ衣を着せられるであらうことを思ふと蔣介石も浮ばれまい。

事業化せる工業研究
關東廳調査

商工省工務局では產業獎勵の意味を以て關東廳に對し官營並に民間機關に於ける工業に關して

一、研究完了事項中事業化せるもの及び事業化可能見込みあるものゝ概要

二、研究着手中の事項の概要

の調査報告方を移牒して來たので當局は直に大連に於ける日淸製油、大華冶金公司、大連工業、滿蒙殖產、奉天に於ける滿蒙毛織等の諸會社にこの旨示達し右二項に該當する事業の概況を徵した處、既に事實化したのや事業化可能の見込みあるもの、研究着手中のものは左の通りであると

▲日淸製油會社　諸植物油の精製法、大豆油粕の食料としての利用法、大豆油搾取改良法

▲大華冶金公司　高速度鋼、不銹鋼、電氣抵抗線、板および棒、マグネット鋼、タングステン及モリブデン等のフエロアロイ、白金鋼アルミニューム製造、タングステンカーバイト鋼

▲大連工業會社　耐寒性防濕防水布

▲滿蒙殖產會社　製膠事業、ゼラチン製造、フイルム及び骨炭製造

▲滿蒙毛織會社　模樣入毛布、絨氈原料糸、山羊絨及ラクダ「ヘヤー」除去

內閣改造問題漸く注目さる
拓務省問題を中心に

【東京二十六日發電】拓務省新設問題を動機として昨今漸く內閣改造問題が擡頭しつゝある、即ち閣內及び與黨內には不戰條約並に新黨問題の鳧が着いた上で內閣改造を電光石火的に斷行せんとする下心から拓務大臣を兼攝せんとする田中首相の意嚮に對し反對してゐるものがある、併し現在の所首相としては只意中に秘策を考ふるのみで閣僚中誰にも相談せず又意見を徵したやうなこともなく只久原遞相のみに幾分意中を語つたらしい、故にまだ表面には具現しないけれども今回の改造に久原遞相の意見が多く入ることを恐れ一種の牽制を試みんとするの機運も動いてゐるが要するに拓務大臣新設問題を中心として內閣改造問題は漸く注目されて來た

內閣改造の要は來議會對策
床次氏結局入閣せん
岡崎邦輔氏談（東京特電二十六日發）

內閣改造は不戰條約問題と引離してはやれないといふものではない政府が不戰條約の御諮詢を奏請すれば既に本問題の解決は出來たものと見定めた場合であるから、直に內閣改造に着手するであらう、此改造に際しては田中首相は先づ第一着手として床次氏に渡りをつけることは明らかである、それは政府の

陣容を一新するといふことよりも來議會に對する策として如何しても床次氏を入閣せしめて新黨クラブと一段の緊密を圖らなければならぬといふのが手段である、來議會は前議會に比し政府にとつて甚だ苦境であらう、この點に首相が頭を惱ましてゐるのは當然の事である、新黨側から見ると山田淸兵衞君その他一二の入閣反對者もあるやうだが、床次氏將來の事を思へばこれは問題でない、何となれば一部に唱へられてゐるやうな中間內閣とか少數黨內閣とかいふものが到底成功するものでないことは何人も明かな

事實である、若し床次氏が斯樣な場合を夢想して入閣を拒絕するとせば同氏の末路は思ひやられるものがある、この事は床次氏も充分知つて居ると思ふから宇垣大將の如き人物を加ふれば之に越したことはない、要するに政府の期待を裏切るやうな事はあるまい、また政府としては床次氏のほか內閣改造は閣內の異動や黨內からの拔擢だけでは何等の意味をなさぬと思ふ

床次氏の入閣は改造の必須條件
兒玉秀雄伯語る

【東京二十六日發電】新任拓務大臣として下馬評に上りつゝある者は與黨、貴族院を通して今や三、四人にしてとゞまらざる狀態であり、其の中でも首相の個人關係よりして比較的實現の可能あるものとしては貴族院の兒玉秀雄伯が噂せられてゐるが、當の兒玉伯は其の噂を全然打消つゝ改造問題について左の如く語る

私の事などは全く世間の下馬評にとゞまつてゐるに過ぎぬことは斷言して置く、最近田中首相に改造問題で話したことはあるが、改造するなら鐵筋コンクリートにしろと進言してゐる次第で、床次君の入閣は改造の必須條件と信じてゐる次第である

午後には一層參加者增加
盛況を極めて終了す
昨日の小銃射擊會

本社後援市民射擊會は晝からは一層參加者が殖え初心者は銃の分解に至る迄憲兵隊員から懇切に敎へられ熱心に練習してゐた、尙午後二時迄の締切時間には二百九十三名の申し込みあり頗る盛會で漸く四時頃射ち終つた

當日の成績左の如し

▲特別一等射手

等	點	氏名
一等	四十二點	中村謙介
二等	四十二點	田切七郎
三等	四十一點	內野末吉
四等	四十點	西村榮
五等	四十點	丹治正市

▲一般射手

等	點	氏名
一等	四十五點	齋藤俊六
二等	四十一點	淺川英次郎
三等	四十一點	田上良穗
四等	四十一點	西郡宗三郎
五等	四十一點	貞重治
六等	四十點	下重司郎
七等	三十九點	佐藤良吉
八等	三十九點	常包勝次
九等	三十九點	山中忠藏
十等	三十七點	安田孝三
十一等	三十七點	伊藤銀治
十二等	三十七點	緒方庄人

▲學生射手

等	點	氏名
一等	三十五點	河野榮一郎
二等	三十一點	岩田正平
三等	三十一點	內藤弘
四等	三十一點	藤原政雄
五等	二十九點	村野保
六等	二十九點	伊藤正夫
七等	二十九點	武田泰明
八等	二十八點	五十嵐篤
九等	二十八點	原田光夫
十等	二十八點	桝田耕亮
十一等	二十八點	和田誓夫
十二等	二十七點	三澤五郎

尙中村謙介、西郡宗三郎の兩氏新に**幹事に**任命されたが、中村氏は東亞土木の社長で珍しい左利の名手であり西郡氏は海關副稅務司で肝腎の人差指を痛めてゐるので中指で引金を引いてゐるが多年海外に在つて各種の射擊優勝牌を所持してゐる熱心な射擊手であると

市民乘艦を許し兩驅逐艦旅順へ
廿七日夜は市中照明

今二十七日の海軍記念日祝賀のため二十六日旅順より回航してきた第二遣外艦隊中の驅逐艦「蓮」「槇」の二隻は目下西埠頭に繫留中であるが廿七日夜はサーチライトを照らし大連全市を照明することゝなつた、而して同艦では今回の海軍記念日廿五周年を迎ふるに當り市民中より希望者の乘艦を許し廿八日午後一時旅順に回航の際兩艦に約三百名を乘組ましむることゝなつた、乘艦希望者は廿七日大連市役所內の海軍協會へ現住所職業氏名年齡を明記して申込まれたいとのことである

本日廳報を添ふ

安田組子

「笑ふ門には福來る」と日本ではいふ「笑ひは萬病の藥」と外國でいふが之はベルリンでの話▲ワルテル何とかいふ藝術家が數年前喉頭結核を患つて遂に聲が出なくなり啞となつて了ひ種々に手を盡して見たが效能がなかつた▲處が此の頃妻君と一夜活動寫眞を見に行くととても面白い喜劇で抱腹絕倒して四年間閉ざされた喉が忽ちあいて其の藝術家翌日になると不思議や發言が自由になつたといふ▲山本滿鐵社長が船のデザインをしたことは報じたが實は三井時代から船には因緣のある方で三井の船の中の「何山丸」と山の字の附いた船は大概山本氏が命名したものであるといふことである。

人事

▲新井堯爾氏（鐵道省國際課長）小林勇藏氏（同事務官）加藤鎌三郎氏（同上）小島信彥氏（同上）他九名二十六日午後八時十分着連ヤマトホテルへ

▲板垣大佐（關東軍司令部參謀）二十六日來連遼東ホテルへ

▲神崎正助氏（魯大公司事務理事）二十六日午後四時出帆の濟通丸にて天津へ

ばいかる丸無電　二十六日午前九時七發島[illegible]　二十七日午前七時大連港外着の豫定

孫文氏の靈柩列車 奏樂裡に北平出發

昨日午後五時西陽門驛から 津浦線で南京へ

【北平二十六日發電】午前十時西直門に入つた孫文の靈柩は此處から正式儀禮行列に編成され先づ騎兵隊長が先頭となり國旗、黨旗を持つた騎馬隊若干之に續き此の儀禮の 總指揮たる平津衛戍司令代理商震氏は歩兵一個中隊を率ゐて之に次ぎ北平警備司令張蔭梧、公安局長趙以寛、憲兵司令楚溪春氏等夫れ〳〵關係各機關代表を率ゐて之に續き孫文の遺像を安置する遺像亭に次いで國民政府代表、各國公使、館員及び外賓進等み兩側を大きな青天白日章で彩られ六十餘名の槓夫に擔がれた孫文の靈柩は喪裝した遺族、中央執監委員、國民政府代表、河北省、北平特別市各黨部員、省、市政府委員等に紼を執られ四十名の儀仗憲兵に兩側を守られて 肅々と して進み軍隊、黨部、政府、警察其の他各界團體の代表數千名は其の後に續き蜿蜒二哩餘の長蛇の列は國民革命の領導者に對する崇敬と、此空前の盛儀を觀んと沿道に堵列した北平市民に見送られながら西四牌樓から西單牌樓に出で西長安街に折れ天安門から中華門、正陽門を拔け西陽門驛に着いたのは午後四時であつた

斯くて孫文の靈柩は驛に準備された十二輛より成る靈柩列車に移され 宋慶齡 女史、孫科氏夫妻を初め遺族及び吳鐵城氏等國民政府代表に見護られ蔣介石氏より派遣された護衛團の警護の下に外交團及び北平各機關、各團體代表多數の見送りを受け軍樂隊の奏樂裡に五時發車津浦線で南京に向つた

健康を誇る市民が 力を限りの活躍

注目を惹いた軍隊の體操や 花のやうな女學生のダンス

市民運動會無事終了

快晴に惠まれ全市民の白熱的人氣に迎へられて大盛況の内に午前中の競技を終つた市民運動會は豫定通り競技進み、正午過ぎ前年度の四百米リレー優勝ティーム滿鐵消費組合及び千六百米リレーの優勝ティーム遞信倶樂部より優勝盃 返還式 あり、之に對して消費組合には滿日社長のペナント、遞信倶樂部には大連市長のペナントを授與し、續いて羽衣女學院生のダンス「ユーナイト」あり其後態々柳樹屯より來連した歩兵第二十聯隊兵士の體操教練が藤田軍曹の指揮によつて、勇壯活潑に進退動作一糸亂れぬ整然さで行はれ、滿場の大喝采裡に終るやこれに代つて彌生高女二年生のげんげの花の一時に咲いたやうな 優美な ダンス「タンツライダンス」同三年生以上のダンス「バタフライ」にスプリングダンスがあり、朝からの競走競技に固くなつた觀衆の神經を和やかにする、これが濟むと無邪氣な小學生の二百米競走から學生、一般の二百米に移り二人三脚についで當日の呼物である一般五千米は頻りに喝采を受けたが滿鐵の中島保君が一着になり、わが社主催のマラソン以來大連に於ける長距離界の 名物男 となつた五十四歳の笠松常楠翁が赤帶に赤鉢巻で走り終る、このあとに肩の凝らぬ役員リレーや來賓競走があり、學生千米メドレーリレー、一般千六百米リレー、四百米リレー等があつて午後六時全競技を終り、直に一般五千米優勝者中島保君千米メドレーリレーの工專テイム、一般千六百米リレーの國際運輸、四百米リレー決勝の沙河口工場等に夫々して石本市長よりそれ〴〵優勝盃を授與し市長の發聲で 萬歳を 三唱して六時十分大盛況裡に第三回大連市民運動會を終了した

トラックの部

▲學生五千米決勝 一着岩佐勇一（大商）一八分三〇秒、二着吉野加生（一中）三着古川政信、四着森一夫、五着前田明

▲重荷競走 一着宮原米雄、慶田留吉、齋藤新右衛門

▲學生四百米 一着白石忠義、平井正春、是松進、日比滿、堀部吉太郎

▲一般四百米 一着關根岩雄、赤島宅一、高橋愛二、尾田扶美雄、山形規、高柳若雄、村上俊夫、並川友吉、新城弘三、後藤五男

▲綱引 遞信局二——〇西通區、菓子商組合——藥業組合、實力伯仲して容易に勝敗決せず非常に接戰となつたが結局引分となる

▲スプーンレース 一着佐藤四郎、神庭多助、吉田康、井戸田金次郎、待野一勇、伊藤豐政、比良次郎

▲二百米一着

△小學生尋五 濱田大作、中村、馬場勝男、上山鎔吉郎

△同 尋六 許永貴、グリシヤー林正清、奥村久夫

△同 高一男岩切正

△同 高二男秋房石之助

△女學生津田澤子

△學生富田龍彦、鶴田滿沙男、増井正和、内山健、菅井滿雄、多田益太郎、井上是一、赤城明、小橋龜雄

△一般 持留仁藏、江頭千幹、德田仲兵衛、中村孝、石村保持、原茂義、坂田恒夫、千葉正義、川野公、森高殖、入江猛内史郎、高柳若雄、加藤竹次郎、田中直光、濱野軍次、大塚久夫、元田棨

▲役員リレー 一着中學合同チーム

▲一般五千米 一着中島保（一七分五二秒）二着志水政市、三着木下儀利、四着岡田正、五着近藤庄作

▲二人三脚 一着西山諸姿、宮崎七柴、岩崎坂井、吉村齋藤

▲學生千米メドレーリレー 一着（二分一一秒八）工專チーム（坂田、藤島、川口、鹿野）二着育成、三着大商

▲一般千六百米リレー決勝 一着（三分五〇秒五四）國際テーム（石川、野口、新城、内田）二着消費組合、三着沙河口工場

▲一般四百米リレー決勝 一着四六秒八沙河口工場、二着消費組合、三着中學テイーム

フィルドの部

▲學生砲丸投 一等石丸正（一一米四九六）

▲一般砲丸投 一等濱野増、新保邦雄、櫻井弘之、本川竹延

▲學生走高跳 一等皆川捨三（一米六〇）

▲一般走高跳 一等岡田吉秋、尾田扶美雄、田村稻美、松本晴陸、進藤正之

雜觀

百米突を獨走した石本市長が走巾跳に出場して大いにジャンバー振を發揮する、結局二米突五十を飛んで未だ衰へざる意氣を示す▲これと好一對なのが市議の仙久良君が三米突七〇を飛んで中老組のために氣を吐いて二着となる▲學生五千米突では笠松翁と好一對で年少で長距離界の人氣者となつた大商三年生の岩佐少年（一七）が短軀よく快走した餘裕綽々として一着となつたのは注目を惹いた▲千六百リレーと四百米突リレーでは前年度の優勝チーム遞信倶樂部と滿鐵消費組合が脆くも敗れたのは意外だつた▲一般五千米突で實業團の高橋三蟲手が工場との試合を濟ませてグラウンドに驅けつけると直に出場して九等に入賞したのは素晴らしい元氣であつた

旅順市民の運動會

大成功裡に終了

第三回旅順市民運動會は二十六日午前九時より開催、觀衆約八千、定刻永山會長の挨拶に次ぎ四百米突競走より開始 第七回老人提灯競走には七十四歳の佐藤辰助翁と六十七歳の藤井タイ女の一騎打があり藤井女一等を得て大喝采白玉山登山競走では女子組で郵便局の高木チヨさんが一着、對抗リレースは聯隊側優勝 斯くて午後五時盛況裡に終つた

職工一應就業

【青島二十五日發電】既報内外棉罷業は工人代表と商埠局社會課長吳蒼氏が本日正午會見の結果罷業團は課長に信頼し一應就業することゝなつたが會社側では今度の事件は單なる勞働爭議に非ず共産黨の陰謀と見做してゐる

常盤優勝

市内小學校公學堂 庭球リーグ戰

奬學會主催の市内各小學校公學堂の庭球リーグ戰は二十六日午前八時より神明町高等女學校コートに於いて擧行され參加校十二各々妙技を盡して戰つたが結局常盤小學校と沙河口小學校の二校優勝戰に殘り常盤學校は不戰一組を殘して十五——八で優勝し本社寄贈のメタルを授與せられ六時半終つた當日の成績次の如し

▲第一回戰（於Aコート）

勝	負
春日（一〇）	聖德（一〇）
沙河口（一〇）	聖德（九）
沙河口（一一）	春日（七）

（於Bコート）

勝	負
常盤（一三）	伏見（七）
松林（一三）	伏見（八）
常盤（一三）	松林（七）

（於Cコート）

勝	負
朝日（一二）	大廣場（六）
大廣場（一四）	西崗子公（九）
朝日（一四）	西崗子公（七）

（於Dコート）

勝	負
南山麓（一一）	日本橋（九）
大正（一二）	日本橋（八）
大正（一三）	南山麓（八）

▲第二回戰

勝	負
沙河口（一三）	朝日（一三）
常盤（一三）	大正（一二）

優勝戰

勝	負
常盤（一五）	沙河口（八）

加大勝つ

對慶應野球戰

【東京特電二十六日發】來朝した加州大學の第一戰たる對慶大野球戰は二十六日午後二時四十分より神宮球場にて天知・横澤・池田の審判にてバツテリー慶宮武・島本・上野・塚越・川瀨・岡田加大ホーナー・ワイナツトにて行はれ九對六にて加大勝つ閉戰五時五分

法政遠征軍勝

【ホノルル二十五日發電】本日午後當地で行はれた法政對フイリツピンの野球戰に法政軍は圓城寺・鈴木・若林・藤田及び松井を投手とし奮戰の結果八對六で勝を占めた

ネストル大僧正の司祭で 嚴肅な追悼會執行

全支からの白系露人が集合して 旅順戰歿者を祀る

五月晴の太陽が若葉に輝く旅順郊外三里橋の露國墓地で、廿六日午前十時から白系露人の旅順籠城廿五年記念追悼會が盛大に擧行された、參列者は 籠城 當時の生存者であるクラマレンコ少將や關係者のハンチン大將、ネストル大僧正ほか滿洲里、哈爾賓、ボクラニチナヤ、長春、奉天、營口、上海、天津、大連方面より約五十名、日本側より軍司令部板垣高級參謀、村上副官、久保田海軍駐在武官、鈴木無線電信所長、横山第九驅逐隊司令、大塚在郷軍人分會長他約三十名

墓地 前には哈爾賓より態々持つて來た露西亞の花輪を中央に軍司令官、旅順海軍現役軍人一同、白玉山招魂社、帝國在郷軍人後援會の花輪が兩側に捧げられた 定刻金の十字架を胸に下げ黄金の光り眩ゆき許りのミツトラおよびマンチヤに威儀を正しガヂローを下げたネストル大僧正がトリキリ及びジキリヒを捧持せる二名の祭司を兩側に、ポーソフを

捧持 せる祭司を後方に嚴然として墓前に額づき極めて莊重な聲で追悼文朗讀するや、參列者一同は心を罩めて祈禱を爲し籠城者代表クラマレンコ少將は日本側參列者に鄭重なる感謝の辭を述べその隣地に日本側が建てた墓標に向つても敬虔なる祈禱を行ひ地下の英靈を慰めた それより一同は白玉山に登り日本軍戰歿將士のため納骨祠に花輪を捧げ、追悼の

祈禱 をなし少憩後東鷄冠山第二堡壘に到り茲でも花輪を捧げ「コンドラテンコ」將軍並に「マカロフ」提督の鎭魂祈禱式を行つた、一同は二十五年前に於ける當時の激戰を追想し轉た感慨無量の態に見えた

旅順籠城廿五周年追悼會

【寫眞上圖】日本で建てた碑の前の祈禱【下圖】露人墓地の追悼會

◎子供の一番多く讀む讀物

最近岐阜縣の調査によると、小學校の兒童課外讀物中、並外れて多いのが、幼年倶樂部であつた。やはり内容の優れたものが多く讀まれると同縣では大評判！

喜久子姫西下

【東京廿六日發電】高松宮妃殿下となられる德川喜久子姫は母堂實枝子刀自に伴はれ本廿六日午前九時三十分東京驛發汽車にて西下伊勢に向はせられた、廿七日御參拜御婚約勅許の御禮を奉告廿八日伏見桃山御陵參拜六月二日歸京の筈

社會事業懇話會

來る廿九日午後六時より市内常盤橋市社會館に於て滿洲社會事業研究會主催にて各種社會事業の統一及連絡を圖るに就ての適切有効なる方法、共同募金の必要の有無、希望事項等につき晩餐を倶にしながらの懇話會を開催の筈で、會費は一圓五十錢、一般社會問題研究家の出席を希望すと

滿展の洋畫評（下）

淺枝次朗

大久保一氏の街、雪の日、二點共に小品ではあるが感情が溢れるばかりに充實した繪である此の調子の大きいものを見せて欲かつた、河南拓氏のうたゝね林檎と人形、新しい境地を開拓せんとする作者の意氣が現れてゐる靜物の方が調つてゐるが二點共ところ〴〵氣分の乘らない筆があつて目觸りになると思ふた佐藤功氏のロシア人形のある靜物、桃梨の春、綺麗な繪だ殊に靜物は垢ぬけのした繪であるけれ共アカデミツクの藝術を基調として見れば申分ないが近代的の精神主義の立場から言ふと物足らない作品である、市村力氏の春の靜物、中川一政氏の繪を聯想させる斯うした物像の單純化を目安とする研究に於て毛色の變つた作品である然し畫面の持つ感情は弱い。

○―○

谷山讓生氏の金魚を配したる靜物、湯どの、氏近來の進境は目醒しい昨秋發表した諸作も一般の注意を惹いたが今度の作品は更に一層深く突き進んだと思はれる靜物は筆も色も先づ申し分ないが構圖に氏一流の陳列癖が出てゐるのと畫面の下の部分があつけない氣がする湯どのは人物にもつと力があつたらと思ふ然し手腕は先づ拔群と云つていゝ川路豐藏氏の發電所風景、自畫像、二點の内では發電所風景が無難である自畫像には作者が努力してゐる理想の表現法はうなづかれるが筆が練れてゐない、明賀房雄氏の夜の築、靜かな午後、纒まつた作であるそれ丈け詩味に缺けてゐる。

○―○

此の外平島信氏の若き日外一點眞山孝治氏のロシヤ娘と肖像は共に努力した作で既に定評があるから敬意を表するにとゞめる尚他に杉野一湧氏の版畫二點常木庄藏氏の彫刻習作及び鷄がある、最後に靜かに考へると之れはどこの展覽會でもそうであるが此の會も槪して若い中堅作家が興味の中心であつて滿洲の美術界は將來此の人達によつて面目を一新し所謂ほんとの郷土藝術の花が咲くのではないかと思はれる。（終）

大相撲夏場所 東方優勝

千秋樂勝負

【東京二十六日發電】

勝	決り手	負
灘ノ花	寄り切り	池田川
清水川	寄り切り	出羽岳
外ケ濱	吊り出し	星甲
朝光	取つたり	常陸岳
東關	上手投げ	常陸島
幡瀨川	寄り切り	若常陸
荒熊	突き出し	白岩
大蛇山	寄り出し	岩木山
和歌島	寄倒し	劍岳
天龍	上手投げ	古賀浦
武藏山	吊り寄り	太郎山
鏡岩	寄り倒し	寶川
信夫山	肩すかし	吉ノ山
新海	外掛け	雷ノ峰
山錦	引落し	朝汐
眞鶴	寄り切り	玉碇
若葉山	同	清瀨川
能代潟	ひねり	玉錦
錦洋	寄り倒し	大ノ里
常陸岩	だし投げ	豐國
常ノ花	同	宮城山

（打出し五時五十分）

斯て東方勝星百三十五、西方七十四にて再び東方優勝した、優勝者常ノ花に賜杯並に額を授與し優勝旗は高砂取締より常ノ花に授けられた

けふのラヂオ

昭和四年五月廿七日（月曜日）

自午前十一時 相場（特産、錢鈔、株式、各地相場）

自午後〇時三十分 相場（特産、錢鈔、各地相場）ニユース

自午後三時三十分 相場（特産、錢鈔、株式、各地相場）ニユース

自午後七時三十分（海軍記念放送）

一、ニユース

二、講演 日本海々戰の跡を偲びて 關東州在任海軍武官海軍中佐久保田久晴

三、オーケストラ 1、君ケ代 2軍艦マーチ ヤマトホテル管絃團

四、薩摩琵琶 日本海々戰 正派 横溝湖城

五、箏曲 凱旋ラツパ 箏福永大勾當、同森川とし子・尺八木村汲山

六、尺八 青海波 都山流草崎主山

七、料理獻立

八、天氣豫報

九、ラヂオ體操

本社懸賞當選小説（禁無斷上演）

人生の曲藝 (142)

瀬野皓太作　浅枝次朗畫

暴風雨（五）

暴風雨は夜になつても止まなかつた。汽車はそれにも關はずにまつすぐに進行してゐるし、彼女の心もちも不思議に、落ちついてゐた。

今日の午後、客車の中で一人の紳士に向つて振舞つた彼女の言動があまりに大人げなかつたのを、つくづく耻ぢて了つてゐた。おかげでその早川啓吉に依賴されて葉山百合子を探索してゐた善良なる一人の紳士に氣の毒なほどな厚かましめを與へて了つた事に氣づいたのであつた。

「勿論、そんな筈ではなかつたわ」いつもの惡戯氣がつい頭を出

「どうすれば、その急行に追ひつけませうか。出來れば何とか御便宜を圖つて頂き度いのです。重大な事件に關係のある犯人を追跡するのですから……」

早川の懇願に對して京城驛長は即座に首を横に振つたのであつた。

「鐵道では、とても追ひつくわけには行きませんよ。若し、あなたさへよろしければ、こゝから平壤へお出でになつて、飛行機でゐらつしやるんですね。それより他には、全く方法はありませんよ」

「飛行機？」

彼は、ほんの今まで、この快速力を持つた怪物の事に就いて迄は思ひもかけなかつたのであつた。

この列車と飛行機との競爭は、早川啓吉にとつては極めて重大な出來事ではあつたが、肝心の葉山百合子にとつては、尠くも何らの意義なき事であつた。

けれ共、彼女は不思議な噂話をし合つてゐる乘客の言葉を、奉天を發して長春に向ふ車中で聞いたのであつた。

それは、一人の軍事探偵が、この列車に間に合ふ爲めに平壤から飛行機に乘つて飛來して來たと言ふことをであつた。

「乾度、早川さんだわ」彼女は心の中でさう思つた。「早川さんだつたとすれば、私若もの時の用意に何かあの人の爲に書き殘しておく必要がある樣だわ。あの人の探偵意識をぺちやんこにして

滿洲日報地方版

奉天

三點を勝ち越し醫大軍先づ優勢
第一日の對抗競技成績

既電の如く滿洲における競技界でその粹を誇る旅順工大對滿洲醫大の陸上競技戰は新緑滴る醫大グラウンドに於て行はれた、絶好の運動日和に觀衆二千を集め碧空に翻る紅白の應援旗、應援歌、陣太鼓の音に各選手必死の努力をなし未だ見ざる緊張戰を演じたが、第一日は醫大四點工大一點で先づ醫大優勢を示す、なほ各競技の戰績左の如し

▲庭球戰　審判岡部氏

シングル　工大　醫大

ダブル

工大		醫大
羽田	〇〇―六六	山川
崎	三四―六六	合名
羽	二一―六六	椎子
額	六六―八六	眞本
藤	四六―六六	眞本
羽	二四―六六	山子
崎	一六―六六	眞
額	二五―六七	福
藤	二三―六六	福

▲柔道　審判佐々木

工大　醫大

軍選手入場と共に緊張し兩軍戰したが醫大の松澤君押え込で一勝を得他は引分け結局醫大將不戰一人を殘し醫大勝つ

工大　醫大

谷一級―分―古野一級
崎初段―同―林同
村同―同―安武同
井同―同―草場同
津同―押込み―松澤初段
口同―分―同同
村同―分―門脇同
山二段―分―德永同
島同―分―安沼同
部同―分―雨森二段
　　　　　不戰沼野

▲劍道

球に、柔道に氣勢を揚げた醫大軍は劍道も壓倒的に工大軍に迫し不戰五名を殘して大勝

工大　醫大

銀時計が飲料不拂ひ

廿五日未明加茂町ペンキ職山越某は江島町九露人飲食店パリジヤンにて飲食し金を不拂のまゝ立去らんとするので遂に保官に說諭をされたが彼は却て反抗の態度を示し且之を追跡せんとする露人を毆打するので保官は之を制止した處益々惡口、罵詈、雜言を吐く始末に說諭して歸宅せしめた、なほ山越は强制的に派出所に引致し支拂方をはこの程七人組馬賊事件の際殊勳により關東廳より銀時計を受けたものであると

黒田次官歸奉

黒田大藏次官は廿五日朝來奉せる山本滿鐵社長と會見し懇談する處あり後鞍業公司、醫大等を視察の上午後二時四十分發安奉線急行で在奉官民多數の見送りを受け歸京の途についた

夏季衛生會議

奉天における本年度の衛生殊に夏季衛生に關する委員會議は廿三日午後三時から地方事務所に於て開

町の便り

蘇家屯における列車衝突事件の第二回公判は既報の如く廿四日午後一時から總領事館法廷に於て開かれ證人その他の訊問をなしたが次回は六月六日開廷の筈

◇

支那側法學研究會では泉二博士一行を廿五日午後五時より松梅軒に招待したが更に同七時から總領事館では支那側司法關係者を招待し晩餐を共にした

◇

平奉鐵路局では二十五日から當分北京奉天間直通列車の寢臺車及び食堂車を廢止することになつた

◇

奉天地方事務所における第一期公費の戸數割は人員四千三百七十三人金額三萬二千三百六十三圓十錢と決定した

◇

去る十一日行方不明となつたといふ千代田通三昌洋行の山名五郎は同洋行の店員ではないと

人事

▲水町守備隊司令官　廿五日過奉歸公
▲ネオピハノフ氏（東支商業部長夫人）二十五日過奉北行
▲秋山大連埠頭長　二十五日朝來奉
▲西田天香氏　二十四日大石橋より來奉
▲三島奉天守備隊長　二十五日歸奉
▲長濱哲三郎氏　廿五日來奉

長春

補助促進運動に笠井會頭乘出す
二十五日發旅大へ
興味を以て歸長を待たる

笠井商議會頭は反對派の會員及び輸出保證制度實現の爲に…

北關夜話

露人が本年一月以來表面に現れた長春商議の紛料も愈々笠井派の商議占領で暫く小康を得た形でこれから後は關東廳の會議室できまることだ△さて紛擾問題の今日までの決算をお目にかけると▲第一が滿鐵

事務員の解職は增俸に
全く經費節減の意味
―赤木新副會頭語る

土産を勸誘し

傳染病の豫防
瓦房店

青年聯盟總會

公學堂生修學旅行

安東

十三萬圓事件の矢島が投身自殺
「自決す」と家族へ打電

打續きの不況に惱み續けた東に最近十三萬圓事件なる發し市民に異常なセンセーションを與へたる警察司法係に…

遼河に投身自殺

峰村氏も辭任か
同僚の犠牲で

商工會議所紛擾問題の犠牲となつて衣食の道を絶たれた大垣書記長以下事務員三名は退職手當も給せられず氣の毒な境遇に陷り知人を頼つてそれぞれ就職の運動をしてゐる、仄聞する所に依れば唯一人の殘留者峰村氏も他の同僚が犠牲となつたのを座視するに忍びずと…

内容を知りませぬが

白系露人がわが戰歿者の英靈を慰む

日露戰役の露軍戰歿勇者を旅順に鄭重に祭つたとは今尚露人の腦裡にきざみつけられ彼等は深く日本軍當局の雅量を賞讚してゐるが二十七日擧行される我海軍記念日に際し北滿在住の白系露人等はせめて代表者を派して日本戰歿軍人の靈を慰めやうと帝制時代の海軍大將ツヨードロフ氏を派遣した

安東魚菜市場
九月早々開市

安東片々

人事

▲井上地方事務所長　五龍背出張中の處二十四日朝歸安
▲吉永成一氏（安東時事新聞主幹）旅大方面へ旅行中の處二十一日歸安
▲和田興氏（安東新聞大連支局長）二十三日夜來安二十四日夜行にて京城へ
▲藤田貴族院議員一行　二十四日午後九時五分過安東上

開原

海軍記念日祝祭

假裝行列審査委員依囑

武道大會出場者

旅順

千家管長歡迎で忙しい

出雲大社教旅順教會所では管長千家尊有卿を迎ふる爲め家屋に大修繕を加へ玄關を增築し襖を張り換へ疊の表替へを爲し神具の新調を始め管長使用の寢具、食器に至るまで新調しその他何くれと世話人總掛りで心盡しの歡迎に忙殺されてゐる

書畫展覽會
千歲クラブで

金州

南山祭
宵祭り賑ふ

夕刊
滿洲日報
五月二十六日

反蔣熱漸く昂まり 蔣氏危機に立つ

馮玉祥氏の討伐軍に不平分子が續々加擔

【北平特電二十五日發】馮玉祥氏が河南、陝西、甘肅、寧河、新疆、外蒙を地盤とし西北政府を組織し西北軍總司令に就任し蔣介石討伐の軍を起すや、今まで蔣氏に對し不平を有して居た左右分子は何れも馮氏に加擔し國民黨中央執行監察委員中にも王精衞氏等の左派、張繼氏一派の西山派等は蔣氏反對の色彩を明かにして共同戰線に立ち、政治的に蔣驅逐運動を起し茲に軍事的にも政治的にも蔣氏は重大なる危機に立つに至つた

馮氏に辭職を勸告

舊部下劉鎭華氏から打電

【北平廿五日發電】馮玉祥氏の舊部下で閻錫山氏の指揮を受けてゐる劉鎭華氏は本日馮玉祥氏に對し國家の大亂を免るべく速かに辭職されよと打電した

山西中立說を絕對に否認

【北平二十五日發電】山西中立說につき國民政府駐平辦事處及び山西側では絕對に之を否認し、最近有力なる馮軍が綏遠方面に大迂廻し山西々部地方は危機に瀕せるため閻錫山氏は再三蔣介石氏に對馮總攻擊令の發布を要求せる事實があると洩らしてゐる

碧雲寺に於る最後の祭典

【北平二十五日發電】北平に於ける孫文移柩の最後の祭典は本日午後十時より西山碧雲寺に執行され未亡人宋慶齡女史、孫科氏夫妻その他親族及び日本側より山田、菊池氏等參列、遺骸を納めた米國製の銅棺には靑天白日萬地紅旗が覆はれ、軈て軍樂隊の悲しみの曲奏せられるや孫科氏は未亡人家族等と共に靈前に三鞠の禮をなし花輪を捧げたが、未亡人は遂に淚新たなるものあり棺の前に跪きよゝと泣きくづれた、家族の參拜終るや吳鐵城、林森、鄒洪年氏等國民政府派遣委員その他各官廳代表者最後の告別をなしたが夜は次第に更け零時となるや靈柩は親族知友政府代表等に依り碧雲寺の前に堵列せる儀仗兵の護衞を受けて南京移柩の第一步に入つた

移柩行列肅々と北平城に入る

孫文氏移柩祭始まる

【北平二十六日發電】北伐成功以來神體化した孫文の靈前には此の一ケ年供花燒香の絕え間なかつたが、愈南京に遷移されると定まつてからは碧雲寺に參詣する人は踵を接し殊に二十三日から三日間に亘る公祭には非常な

參拜人 で吳鐵城、鄒洪軍、林森氏等國民政府代表を初め各省市政府、黨部、軍隊の代表、內外各團體の參拜あり遺族たる孫文未亡人宋慶齡女史、孫科夫妻初め令孫、親族も二十五日親く參拜し之等の人々に依つて獻げられた花輪は美々しく靈柩を埋めた、廿六日は午前一時、前夜來宋未亡人等の遺族及び吳鐵城氏等の國民政府代表以下內外各機關、團體の代表に守られた孫文の遺靈は支那の

古典に 則り壯麗なる銅棺に移され六十餘人の槓夫に擔がれて靜かに過去四年間假の奉安所であつた碧雲寺の山門を出た、門前には移柩行列に參加する軍警軍樂隊等整列して靈柩を待つてゐたが、靈柩山門を出るや騎兵隊長の先頭に依つて行列は肅々として行進し初め、支那國旗、國民黨々旗を捧持した騎兵隊に續いて軍樂隊は

哀の曲 を吹奏して行進し、次で步兵四個中隊に前後を護衞された孫文の靈柩は黑の支那服に絕えず歔泣く宋慶齡未亡人及び孫科氏等の遺族各界代表に送られながら西山から玉泉山、靑龍橋を經て西直門に至る十數哩の西山街道を北平城に向つて進んだ、この時十二發の弔砲殷々と西山にこだまし稍かけたる月は山々に冷たき光を投げ男女學生一千名の提灯遙かに續く、西山一帶に香の薰り漲り哀愁と莊嚴の氣に滿ちた、斯くて此の行列が西直門に到着したのは午前十時、此日北平城內の

警戒は 非常なもので共產黨の策動、反動分子の陰謀說に恐れをなした、平津衞戍司令部では各城門を開けず城內に戒嚴令を布き各商店を鎖し通路は行列通過前に早くも軍警を配備して一切の交通機關を停止せしめ通行人の往來をも禁止したので行列を觀んとする者は數時間前から各指定の地に整列して居らねばならない狀態であつた、之より先午前七時平津衞戍總司令部は天安門に於て百一發の禮砲を放ち各工場は汽笛を鳴らし各官廳各機關、各學校初め一般市民は各戶に

半旗を 出して哀悼の意を表し駐支各國公使館初め外國人も半旗を出して此の國家的祭典に情誼を表示した

けさ木下長官 海路急遽上京す

埠頭賑かな見送裡に

田中首相の招電により木下關東長官は夫人、春日秘書官を同伴急遽二十六日午前十時出帆の香港丸にて東上したが、埠頭には今朝奉天より歸連せる山本滿鐵社長を始め山崎本社長、小日山滿鐵理事、神田內務、藤岡警務局長、田中民政署長、佐藤、高田、大連商議正副會頭等官民多數の見送りがあつた

長官は語る

電文が簡單だから用件が何であるかは判らぬが內閣改造に關するやうな政治的重大問題が突發したとは思はれぬ、田中內閣としては拓務省の設置と共に愈々更始一新の時機に際會してゐるわけであるから多少政治的の相談は受けるだらうが大體事務的な問題であらうと思ふ

新しく設置する政友特別委員會

六月初旬最後の決定

【東京二十六日發電】政友會では新政策を確立して輿論の轉換を圖らんとして目下政務調查會に於て種々研究中で、山崎政務調查會長は前回の同會理事會に於て協議した各意見に基き今後特別委員會を設けて調查すべき事項及び一般調查事項として掲ぐべき調查項目等を整理してゐたが、大體成案を得たので本日午後一時より本部に理事會を開き同三時より政務調查會役員と幹部との聯合會を開いて

諒解を 求め更に來月初旬政調の總會を開いて最後の決定をなすはずである、今回設置される特別委員會は

一、公私經濟浪費節約に關する特別委員會
一、失業救護に關する特別委員會
一、就職難救濟に關する特別委員會
一、農村生活救濟に關する特別委員會
一、金融機關整理に關する特別委員會

等で金解禁問題、國債整理問題は尙ほ別箇に何等かの形式を取つて愼重に研究する方針であると

けさ歸連の山本社長 直ちに甘井子視察

設計圖を前に鋭い質問飛び 各關係者汗をかく

山本滿鐵社長は撫順方面の視察および奉天訪問をなして、今朝八時二十分歸連した、山本社長は直に滿洲館に赴きパンに卵と云つた輕い朝食をとつて「けふは日曜日かぢや一つ甘井子の埠頭でも見にゆくから、各方面の關係者を呼んでくれ」と云つた調子で、午前十時自動車で大連埠頭に到り、こゝで岡、神鞭、小日山の三理事それに服部顧問(築港專門)佐藤鐵道部次長、藤井、笹原兩秘書を帶同して小蒸汽に打ち乘り、まづ新造石炭船

撫順丸 を隅から隅迄見てのち甘井子に赴いたのは十時四十分頃、甘井子は昨年八月起工し今や工事の半、これが第一期竣成は來年の五月下旬と云はれてゐるが目下甘井子の從業員(職員三十名、日本人傭員百名、支那人傭員百名外苦力約二千五百名)は晝夜ぶつ通しで働いてゐる、山本社長は小高い丘のテーブルに設計圖をひらかせて熱心に說明を聞いてゐる、こゝでは服部顧問、佐藤鐵道部次長、桑原甘井子所長等の各エキスパートの話を聞きながら細かい點を

指摘し てわたり合つて

社長曰く「第一期分の九百萬圓は高いな、もう少し安くは上らぬか」と云ふに對して佐藤次長は「十三年も經つとこれで償却が出來る積りです」「もう少し早く竣工出來ぬか」「晝夜兼行です」

その他、鋭い質問等が飛び出して關係者は汗をかくと云つた態、例へば「棧橋をこしらへるのに石炭の內容をよく吟味せずこしらへるんぢやなんにもならぬ、塊炭は何パーセント積むか」等と云つた調子、倦むことのない精力ぶりで十二時半甘井子を視察し終へての隨員諸氏及び各エキスパートと共に歸路につき大連ドックを

一巡し て埠頭に着き直ちに自動車五臺に分乘してヤマトホテルに赴き、こゝで晝餐をしたゝめ、尙午後からはうむことを知らぬ山本社長は「伍堂君でも招んで研究し合はうかな」さても恐ろしい精力である

威海衛租借地返還問題交涉か

英公使赴寧の使命

【上海二十五日發電】英國公使ラムプソン氏は目下上海に在り二十九日當地發南京に赴き孫文移柩祭に參列の豫定であるが、支那側の情報に依れば同公使今次南下の使命は移柩祭參列以外に威海衛の租借地返還問題の交涉に在る、乃ち威海衛は曩に太平洋會議で返還に決定し其の後民國十四年に租借期限滿了となり、英國は北平政府との協定草案に基き國民政府との非公式交涉に於ても原則として返還すべきことを承認した、たゞ劉公島に英國軍艦を碇泊せしむる權利のみ要求してゐるので支那側は之を承認せず懸案として持越されてゐるものであつて今回之が後始末をなすため交涉を續行すると云ふのであるが、その成行は我旅大租借問題と關聯して日本としては相當注目を要する

滿蒙鐵道驛傳競爭

漢族に驅逐さるゝ蒙古人種の悲境

注目すべき露國の對蒙政策

(第八信) 洮南にて 秋山紅班選手

◇古代蒙古民族の偉大なる彿すら窺ふことのできぬのが現在の內蒙古諸王族である。一昔前は鄭家屯、洮南地方一帶に蒙古人の姿を見受けぬことはなかつたが今では洮南では蒙人に逢ふことが珍しいのである。彼等は漢人のため次第に內蒙の奧地へと驅逐されつゝ、民族的には何等意識はしてをらぬらしい。蒙古青年黨のうちには多少政治的に目覺めて來たものもあらうが、大勢を挽回する程の氣力と氣魄を有してゐるものは見當らない。

◇蒙古王族が斯く凋落したのは外でもない、旗人階級の遊惰性が遂に今日をなしたのである。鄭家屯が左翼中旗達爾罕親王旗、溫都魯郡王旗下の游牧地から開放されたのは光緒二年で、民國二年には縣が設けられた、洮南は光緒初年は全くの曠野であつたが、廿九年開放され三十年洮南府治が設けられ、三年縣制が施行されて洮昌道に編入になつてから、生存競爭に堪えられない蒙人は、漢民族のために土地を奪はれ自然に追ひ立てを喰つたのである

◇蒙古民族は漢民族の功利主義とネバリ強い侵略には到底敵はなかつた。其れは遊牧民としての悲しさ、餘りに天惠に馴れて自然を開拓するの氣力に乏しかつたからと一つは封建制度の餘弊に王、旗人等は稼ぐものが下層階級で人間のうちに這入らないと考へてゐることで、其の風習に着け込んだのが漢民族の賢い處であつた。漢族は民族混血の法を以て內蒙懷柔策とした、滿朝の皇女が懷柱となつて嫁した如く、或ひは張作霖の長女が達爾罕王に嫁したやうに、女を餌にして巧に懷柔したのであつた

馬鹿な王さんは其れによつて全然民族的な考へは捨てゝ周圍の旗人等は昔も今も同樣にとりまき連として漢族の文化に陶醉したのである。

斯くて洮南からソロン方面又は突泉(圖什業圖王府)地帶に支那商人等が侵入し洋雜貨物を賣捌き蒙古特產の牛、馬、羊皮等を物々交換的に取引して來るが、雜貨品は原價の十五倍程度で賣りつけ、皮革類は出來るだけたゝいて一圓のものなら七、八十錢位に値切つて來る、其のモノポリーな商取引には流石の王さん連も腹を立てゝゐるがどうすることもできない

◇洮南地帶に於ける支那移民主權者は邦人の居住を絕對に嚴禁し、あらゆる手段を講じて排日に努めてゐる。洮南唯一の大通客棧も既に家屋契約の期限が來たのを口實にして家主を脅迫し、遂に邦人との契約を破棄し營業のできぬやうに封鎖してしまつた。大體蒙古ばかりぢやない、滿洲に於ける支那人は大きい誤解して領土呼ばはりをする權利は無い筈だ、根を糺せば移民であつて漢民族の橫暴政策に過ぎない

◇西村洮南公所長の說明によると洮南背後地蒙古貿易の將來は多少囑望すべきものあり、一ケ年の輸出は七百數十萬圓に達し主なるものは畜產、藥草、甘草、曹達其他であるが輸入も亦六百萬圓程度であると

◇洮南縣城は周圍廿支里の土壁で築かれたうちにあり土を捏て造り上げた丈に、上から俯瞰すると市街の家屋が灰鼠の保護色をしてゐる、土質は非常に細かく雨が降つても浸透しない、だから土の家を造つても決して流されるやうなことはない、カチカチ山の狸舟をこの土で造つたなら狸はあゝした悲慘な目に逢はなかつたらうとお伽噺を想ひ出す

◇支那靴を穿いた鐵道省の加賀山局長一行が西村所長の話を聞いて全く感心し「百聞一見で蒙古氣分を味はつた」と悅に入る、蒙古包を移轉する時は女が一人手で全部整理する蒙古人で勤勉なのは女であると所長の說明であつた

◇帝政時代のロシアも現在のソウエート聯邦も內外蒙古に對しては力強い滿蒙合併の實現を期して支那の羈絆を脫せしめるの時があると確信してゐる。特に天山蒙古アムールサンサに關する傳記を唯一の信條として蒙古を引きつけやうとしてゐるのである、慓悍性を有する蒙古民族と大和民族の血統的脈絡はロシヤの持つ因緣よりは深いのだが、日本人は蒙古人に對して冷淡で滿蒙――滿蒙と叫ぶものも其の蒙古に對する知識は極めて薄弱である、この點はスラブ對蒙古民族の如くでないのは甚だ遺憾で鄭家屯の菊竹實藏さんが常に憤慨してゐる重心點である。

親切な宿の女將の言葉を噛み碎きつ鐵嶺へ

緣起でもない事を話す隣り客

(第八信) 鐵嶺にて 加藤白班選手

◇時計の長針の動きを判然と感取する、鋭い緊張し切つた神經が空に散らばつてゐる星群にも勝利を默禱する。二十一日午後十時五十五分、バトンを受けて滿蒙驛傳競爭の白班は第二のコースに入つた譯だ、能勢選手の、[illegible]けた餞に感謝して奉天驛第三ホームに待つてゐる四平街行列車の人となる、混合列車の悲しさは驛每に足踏みしながら進んで行く、たど〳〵しい足取りだ、間違ひのないやうに行つてくれ、心に綴んで窓外を見る

◇沈んだ夜の色は重々しく只星が尾を引いて飛ぶやうに見える黑い鐵路が二條長々と延びてゐる、昔見た映畫「ラ・ルウ」の鐵路が唐突に頭の神經を刺す。そのトタン車はコトリと最初の驛に着くウエンコワントン(文官屯)ねむさうな中國人のアクセントが苛々させる、虎石臺新城子小さい驛がしばらく續く、話題もなく興趣もなく車はたゞ單調に進んで行く許りだ

◇肩にかけた白だすきをマヂ〳〵見てゐた隣客が話かける「あかの方が大分走つてゐるやうだすなあ一日に哩數が倍も違ふたら、あとからの開きが大きいですやろ」緣起でもない事を喋り出したもんだ。……しかも耳障りなことばなまりで……「そんな事はありませんよ、ありや止まらうと思つても車が止まらんのだから、哩數が增えてゐるですよ、結局白が行く時だつて同じでさア」「下らないと思つたが、斯う言つて橫になつた。そして奉天の旅館のおかみさんが「かつぶしをもつて行きなさい、緣起が好いからね」親切に云つてくれた言葉の端々をしづかに噛みくだきながら、とにかく鐵嶺までは、トロリと一寢入り……

「鐵嶺ですよ」、事掌君が起してくれる。十分間停車を利用して驛長室に飛び込み通過證の判を貰ひ、さてこの僅かなひまにも話は驛傳競爭に及び、その熱心さには感激させられた、自作のダイヤグラムを出して見せてくれる話に熱中してしまつて列車の出發ベルに促がされ大急ぎで乘込み開原指して進む、廿二日の午前一時十分だ。

けさ哈市發 海倫へ

秋山紅班選手

【哈爾賓秋山選手二十五日發電】東支線の時間改正による國際急行を利用し巧にボクラニチナヤまでは豫定のタイムを以て進んだが、引返しは夏期臨時列車の都合が惡かつたゝめ八時間同地に滯留させられ空しく地團駄を踏んだ、斯て廿四日午後八時半頃、楠瀨夫人の情で作られた茶飯の握り飯に末藤高崎居留民會代表等の見送りを受けてハルビンに向ひ廿五日午後五時四十分ハルビンに着す、同夜貨物列車で海倫に向ふ豫定であつたが、之れは運轉休止のため已むを得ず北滿ホテルに一泊した、廿六日午前九時發呼海線を踏破し海倫一泊の上南下の豫定である

英米トラスト 青島工場罷業

【青島二十五日發電】英米トラスト青島煙草工場女工の大部分は外部の共產派の煽動で二十四日より罷業に入つた

人事

▲木下謙次郎氏(關東長官)夫人同伴二十六日出帆の香港丸にて內地へ
▲春日善之助氏(同秘書官)同上
▲土屋正三氏(內務省警保局書記官)同上
▲小山正春氏(關東軍司令部附陸軍砲兵大尉)同上
▲佐賀縣伊萬里商業學校生徒三十九名 同上
▲香川縣木田農學校生徒七十二名 同上
▲青島第二小學校兒童三十名二十六日正午入港の奉天丸にて來連
▲山田謙氏(大連民政署關稅主任)同上
▲神崎正助氏(營大公司事務理事)同上

天氣豫報

廿七日(晴れ)南の風 一時曇り
日出四時三十二分 日沒七時九分
滿潮午前なし 後零時二十五分
干潮前五時三五分 後七時十五分

五月の空晴れて勇み立つ大連市民
スタンドの聲援に場內大賑ひ
第三回市民運動會

紺碧の空に微塵の雲もなく、初夏の風快く吹いて、譚家屯大連運動場の四周を飾る無數の彩旗に本社旗へんぽんとして來會者を招く、場內メーンスタンドに翻る日章旗、記錄板側に高く揭げられた會旗は、共にこの日の平和で健全な催しを祝福するものゝごとく、悠揚として微風にはためく、大連市主催本社後援の第三回大連市民運動會はかうした絶好のコンヂションに迎へられて、豫定通り、二十六日午前八時から開會された、定刻前から競技のトップである百米突レースに出る小學生を始めとして一般の觀覽者は、運動場停留場前に電車が停まるごとに、水の噴き出るやうに吐き出されて新綠滴たる步道に糸を引いたやうに續く

百米競走に元氣な石本市長
競技は順調に進んで思はぬ興趣に大喝采

定刻石本會長、貝瀨審判長その他の役員全部參集、石本會長よりマイクロホンを通じて開會の挨拶、貝瀨審判長より競技上の注意があり、嵐のやうな

拍手 子供たちの黃色い聲援に迎へられて小學生男子尋常五年の百米突から競技が開始された競技の一つ/\に子供も大人も聲援激勵でワアツ/\といふ賑やかさである、學生及び一般の百米突が濟んでフイルドで走り跳が始まり、一般の提灯競走が終る十一時頃には、櫛の齒を引くやうに

絡繹 として運動場に押寄せる人の波は眩ぐるしいばかりだ競技は流れるやうに進んで正午頃にはスタンドの大部分は見物人で埋められた、競技中一般では消防組合から綠川、長澤、宗正君等が飛出して一着を占めたり、大連一中、二中の先生たちが三十六歲以上の百米突で期せずして

對校 レースになつたり、なか/\興趣が多くスタンドに喝采が起る、中でも面白かつたのは石本市長の百米突レースで洋服のヅボンを腰までまくりあげ素足で走る、とても六十八歲の老翁とは思へぬ大元氣だ、このタイム二十二秒五分の一であつた

各競技の一着者
午前中の分

各競技の一着者は左の如くである

▲百米一着者
△小學生五男 鎌田正基、中村忠秋、吉田滿喜男、內海利雄、竹川昌平、廣崎和夫、西鄕信男
△小學生六男 鈴木正次、緒方一美、辻常雄、上野孝
△小學生高一男 齋藤二郎、增子孟子
△同高二男 小林裕二、松下肇
△同尋五女 新宅雪江、高橋玉子、的場佳子、中尾壽江、日塔益子、水越惠美子
△同尋六女 時計安喜子、伊藤幸子、小田淑子、藤森ヨシエ、山內ハツエ、伊藤糸子
△同高一女 水野文江
△同高二女 土方キミ
△女學生 川崎かよ
△學生 富田辰彥、山崎淸、塚堀輝夫、松岡司、增田信、內山健介、山崎長三郎、山崎壽男、多田益太郎、赤堀明、片山壽明、麻生利夫、鈴木忠夫、坂田恒夫
△一般 針間晃、櫻井元男、增田茂、佐藤信一郎、衣笠止、川野公、高橋愛二、尾田文雄、森高楨、入江猛、瀨戶完一、岡本信男、大久保勇、渡邊太郎、綠川郁三、石村保、外山包男、坂出迪、杉山纖夫、島田行正、粟栖昌、比良次郎
△學生八百米 竹岡正續、小林滿洲吉、石田直止
△一般 關根岩雄、中島保、萩原貞夫、靑山辰七、新城廣三、菅澤兵太郎
△學年走巾跳 增田信、港川捨三
△一般 針間晃、岡村五郎、西本桂一郎、菊野景盛
△提灯一般 佐藤四郎、山城俊夫、田村芳太郎、山本久、關谷良作、外山包男、持留仁藏、岡師文雄

小學生の百米レース けふの大連市民運動會

快い銃聲に市民射擊會賑ふ
けふ春日池畔で開催

本社後援第二十九回市民射擊會は本日八時より春日池射擊場に於いて催された先週日曜日は天候險惡の爲め不幸中止延期されたが、本日は風も和かな絶好の射擊日和で朝早くから學生團體、各警察吳員在鄕軍人一般愛銃者續々詰めかけ初夏の微風に戰ぐ芝生の上に伏せつて若葉薫る山に快い銃聲をこだましてゐた午前中既に二百二十八人を受付け熱心に朝から委員控所に詰めかけてゐた岩井少將もにこ/\してゐた午前中の成績左の如し

▲特別一等射手四十二點田切七郞、四十點西村榮
▲一般射手四十一點西那宗三郎、三十九點常包勝次、三十九點佐藤良吉
▲學生射手三十五點河野榮一郎、三十一點藤原正雄、三十一點內藤浩

デヴイスカップ日米戰
安部太田共に敗れて日本は遂に失格す
四對一の成績を以て

【ワシントン特電二十五日發】デヴイスカップ戰アメリカゾーン第二ラウンド日本對アメリカ戰安部對ヴアンリンのシングルスは安部は左の通りの奮鬪もアメリカのエースヴアンリンに向つては力及ばず第二セツトを奪ひたるも遂に敗れたスコア

安部 二—六、六—四、三—六、三—六 ヴアンリン

【ワシントン特電二十五日發】昨日のデ盃戰で對ヴアンリントンとのシングルスにおいて勝利を博した太田選手は本日の對ヘネシイのシングルスにも多大の期待がかけられて居たが、ストレートで破れ日本は四對一の成績で本年度デ盃戰から敗退する事となつた、スコア左の如し

ヘネシイ 六—三、六—一、六—三 太田

試合前に疲勞の色
大統領邸に太田、安部出場

【ワシントン特電二十五日發】本日のシングルス戰において日本選手安部、太田共に時々鮮かなローピングを見せ銳いバツクハンドのクロスコートドラブを出したが、最後までその堅實さを持續し得なかつた、午前中試合前に太田は米國選手マセイと組んで大統領官邸コートにおいて「アリソン、ホール」組のダブルスのエキジビシヨンマツチを行ひ太田は更に安部と組んでヘネシイ、ヴアンリンとダブルス戰を試むるの相當の疲勞の色が見えた、フウヴア大統領は差支えあつて顏を見せなかつたが大統領夫人は熱心に見物した

新婚夫婦日記

トテモ愉快トテモ面白い佐々木邦氏の傑作『新婚道中記』講談倶樂部六月號に掲載、人氣湧く如し

神社移轉工事場で血の雨を降らさんとす
また本溪湖神社移轉問題惡化

【奉天特電二十六日發】本溪湖神社移轉問題に就いては豫て贊否申し紛糾を續けてゐたが廿六日午後零時五分移轉反對の三十名は地均し現場に驅け着け工事を中止せよと迫つてゐる處へこれを聞傳へた贊成派は約數十名赤襷を掛け手に/\棍棒を携へて對峙し今や血の雨を降らさんとしたが警官急行し、反對派十一名を檢束して漸く鎭めたが奉天國粹會幹部二名は關東廳を訪れ尙善後策を講ずると

滿洲の犯罪調べ
馬賊の被害は州外に多い
詐欺と恐喝は州內 保安課昨年度の被害額調

關東廳管下に於ける昨年中の强盜、詐欺、恐喝、橫領件數および其の被害額に就き關東廳保安課に於て調査中であつたが、州內外を合計して件數匪徒三十三件、馬賊二十一件、海賊六件、その他二百七十八件、竊盜九千八百七十四件、詐欺および恐喝八百三十八件、橫領四百九十五件で、この被害額は匪徒一千百十四圓、馬賊四千二百九十七圓、海賊六百九圓、その他五萬七千百六十二圓、竊盜四十五萬二千百三十六圓、詐欺および恐喝十四萬九千五百三十五圓橫領二十八萬八千五百二十四圓である、この中匪徒と海賊の件數および被害額は州內のみで、馬賊と竊盜は州外多く、詐欺および恐喝は州內橫領は件數に於て州內多く被害額は少いと

拘留と科料 總滐へ
一萬五千餘人

關東廳管下各警察署で昨年中拘留に處斷した人員は日本人三百七十三名、支那人一千四百六十五人、外國人七人、計一千八百四十五人で、科料に處斷した人員は日本人一千三百九十一人、支那人一萬四千三百九十八人、外國人百九人、計一萬五千八百九十八人であるが、これを月別にすれば

▲拘留人員 一月百八人、二月百四人、三月百六十三人、四月百三十四人、五月百六十七人、六月百九十三人、七月百十八人、八月百五十六人、九月百五十四人、十月百七十七人、十一月百八十六人、十二月百八十五人

▲科料人員 一月六百六十五人、二月千四百二十一人、三月千八百十八人、四月千四百九十一人、五月千二百五十五人、六月千七百六人、七月千二百十七人、八月千五百七十二人、九月千三百八十九人、十月千百七十八人、十一月八百九十三人、十二月千二百九十三人

殺人事件が昨年中に卅三件
一番多いのは竊盜犯

關東廳管下における昨年中の犯罪件數は一萬八千百八件で檢擧數は一萬七千五百二十七件であるが、この人員は日本人一千九百九十一人、支那人一萬五千百一人、外國人三十三人、合計一萬七千百四十七人で、この中最も多いのは竊盜で犯罪件數四千五百九十七件に對し檢擧が四千百四十五件、この次が警察犯處罰規則違反で犯罪件數二千五百六十一件に對し檢擧數二千五百六十一件である、血腥い方では殺人が犯罪件數三十三件で檢擧三十件、傷害犯罪二百七十一件に檢擧二百七十一件、艶めかしい方では猥褻姦淫及重婚の罪が犯罪件數廿一件で檢擧廿件、墮胎の罪が犯罪件數一件檢擧一件である

竊盜犯人逮捕

四月廿一日大連市八幡町四三森岡留造方の竊難事件の現場模樣から犯人は大連市吉野町八五金工舍方店員松尾潔（二〇）の所業ではないかと目星をつけ大連署で同人を搜査中であつたが廿五日前記金工舍にゐるのを發見任意署に同行取調べた所留造方より錦紗反物二反ほか二點時價三十圓餘を竊取したことを自白したので目下留置引續き取調べ中である

演習中の我が兵に支那巡警が發砲
昨夜、奉天鐵西で暴擧

【奉天特電二十六日發】奉天駐劄隊第五中隊が廿五日午後九時頃奉天鐵道西方一キロの地點にある瓦房附近に於いて北村特務曹長指揮の下に野外演習中魯官屯西方墓地の中から突然支那巡警らしき者三名現れ我軍に對して五六發々砲したので直に之を包圍し三名共逮捕の上憲兵分隊に引致し現場取調中である

右は綏中縣公安局第五分局魯官屯分所長于福臣巡警長慶吉同劉玉祥と云ひ彼等の申立に依れば前日其附近に馬賊が出た爲之を搜索中我軍隊を馬賊と見誤つて發砲したと云つてゐるが其夜は月夜で僅か二十步の距離の處であり我軍隊と知りつゝ發砲した形跡があるので憲兵隊では小銃三個拳銃一個佩刀一本及彈藥函四個を證據物として奉天總領事館に屆出で嚴重交涉すると

檢疫船を橫付せぬ
入港定期船に

既報の如く定期船の岸壁到着の時間を短縮するため商船側の要望により海務局では檢疫船を本船に橫付けせぬことに二十五日決定した從つて水上署としてはその職務上署所有の船を出すことゝなる筈であるが、新聞記者その他の關係者は水上署乃至は滿鐵の船に便乘しなければならぬことゝなつた

滿洲が生んだテノール歌手
平間文壽氏獨唱會

既報の如く若きテナー平間文壽氏は本社後援のもとに二十七日（月）午後七時半から協和會館で獨唱會を開催する。氏は旅順中學出身で、東京音樂學校を出ると直ぐに伊太利ミラノ音樂院で三ケ年修學した天才的歌手で、吾ら滿洲在住者にとつては眞の意味に於ける吾らのテノナーである。氏の不斷の精進によつて、その藝術は近來頓に大進境を見せ、殊に先月日本青年會館で催された松平里子、佐藤美子氏らのボーカル、フオーア合唱團に早川美奈子氏らと共に唯一のテノール歌手として、贊助出演したが、マダム、バツタフライの全曲は氏自らも快心の出來榮えであつたと言つてゐるが、聽衆の內外人は口を極めて氏の藝術を激賞し殊にペツオールド教授の如きは、感極つて氏の手をとり「あなたは日本における唯一の眞の意味におけるテノール歌手だ。何んといふ素張らしい出來であらう……」と賞めちぎつたと言ふ話である。二十七日の獨唱會に於ては氏が最も得意とする歌劇ものをも併せ演奏するから、恐らく氏の眞價はこれによつてその片鱗を覗ふ事が出來やう。

主催者側での、前賣切符で素張らしい前景氣を見せてゐるが、當日朝から社員倶樂部でも座席の豫約切符の發賣をするが、會費は大人二圓、小人學生五十錢の所、滿日讀者の爲に本紙刷込みの割引券持參者及滿鐵社員に限り大人一圓、小人五十錢に割引く事になつてゐる。滿員にならぬ前に御需めありたい。

映畫講演會

警視廳檢閱係長 橘 高廣氏

一 映畫の見方 一般フアンの爲に
五月二十八日午後七時半より大連滿鐵社員倶樂部二階食堂に於て（幼少者は御遠慮下さい）

一 教育映畫に就いて 一般教育關係者の爲に
五月二十九日午後七時半から大連滿鐵社員倶樂部二階食堂に於て

注意 參考資料として兩夜とも滿洲映畫ニユースを封切上映します【入場無料】

主催 滿洲日報社
後援 滿鐵情報課

東洋ホテル開業

市內伊勢町篠田利三郎氏は大連ビルブローカーの賓館を利用し子息東一君の經營で去る十七日から東洋ホテルを開業したが來る廿八日午後六時から披露の宴を開くと

南船北馬

◇旅順管內柏嵐子屯の漁夫田恒存は去る二十四日朝同地海岸で波間に漂流する三十石積位のジヤンクを發見し大きな拾得物として派出所に屆出た

◇來る六月伯林に於て開催される萬國婦人參政權大會及びジユネーブで開かれる國際婦人平和大會出席のため北村兼子女史は赴歐の途次廿四日安奉線急行にて奉天經由伯林に向つた

◇大西洋橫斷飛行の途中より引返したツエツペリン伯號につき專門技師が檢査せる結果ツエツペリン伯號の遭難は過勞に因るモーターの損傷に基因せるものなので意業云爲は問題とするに足らぬことが確められた旨公表された【フリードリヒスハーフエン廿五日發電】

コドモページ

修學旅行記

待ちに待った 出發の日が來た

大廣場小學校六年生　佐々木一正

朝飛び起て、今日の天氣はと思つて、外に出てみると朝日がきら〳〵とかゞやいて、空には一點の雲もない。

お母さんに「旅行の用意をしておいてね」と言つて家を出た。學校に行くと皆旅行の話をしてゐる。

朝會のりんがいつもとちがつて大きくリン〳〵とやかましい程鳴り出した。

朝會もすんで一時間の勉強に取りかゝつた。胸がどきどきして一つも出來ない。

時はだん〳〵と立つて六時間の授業もすんだ。

いつもフツトボールをして遊ぶ僕が今日は何一つしないで家に歸つた。

くるしい息の中から「たゞいま」と言つた。そしてお母さんに「旅行の用意は？」と聞くとお母さんは「今出來ました、お前のすきなお菓子を買つておいで」とおつしやつたので三十五錢持つて自分のすきなのを買つた。

ちようどそこへ贄川君も來た。「何を買ふの？」と聞いたら何でもないよと贄川君は答へた。「散ばつしてもらひに來たのよ」と言つて僕の内に入つた。あとで僕もしてもらつた。

時計の針はえんりよなく進んで行く。やがて時計が八時をうつたので向ふの叔父さんやお父さんや、お母さんに「いつて參ります」と言つて贄川君と學校に行つた皆うれしいのか講堂を飛び廻つてゐる。

僕もいつのまにか足がおどつてゐた。

ふと皆が「先生がいらつしやつた」と言つたので、後をふりむくと校長先生がニコ〳〵顔でいらつしやつた。皆は一班、二班三班、四班と次々に並んだ。

そして少し話があつた。

時計が八時三十分を示したので學校を出た。

驛に來ると鹿森さんの叔父さんに會つた。

叔父さんは「これは小使錢ですよ」と言つて五十錢くれた。

「ありがたう」とれいをのべて汽車に乘つた。

たくさんの先生方が見送りに來て下さつた。

きてきがなつた。それを合圖に汽車は勢ひよく動き出した。

汽車の中で 一夜は明けた

藤根次郎

「横井君もうねようよ」と言つたがなか〳〵ねむれない。二、三班あたりで、くす〳〵笑ひ聲が聞える。皆うれしいのだらう。

横井君が、こくり〳〵はじめた。僕も間もなくね入つてしまつた。しばらくして、目が覺めた。ゴツトンと或驛に着いた。くらくてどこだかわからなかつた。先生はねもしないで、皆の樣子を見廻つておられた。僕等のおきたのを見て

「まだ一時だから、ねてゐなさい」と注意して下さつた。

仁丹を入つぶ程かんで又ねた。横井君もおきた。又話しだした。

「おいもう何時頃かなーー」

「まだ四時頃だらう」

「君ねた？」

ガタ〳〵いつてちつともねむれなかつたよ」

「もうめんどうだからおきやうよ」

などと言つてゐる。皆腕がおどつてねむれないらしい。荷物をしまつて本を讀んでゐた。

シュツ〳〵ポツポと廣い野原に氣持よくひゞいてゐる。

だん〳〵明るくなつてゆく。大平山をすぎて、大石橋に着いた皆おりて顔を洗つた。とても氣持がよかつた。それから御飯を食べた。汽車にゆられてゐたので大へんおいしかつた。皆外をながめたりハーモニカをふいたりしながら、待ちどうしそうな顔をして汽車にゆられて行つた。

ニドメノ 大チャンノタンケン (53)

ハルミチ作　ジラウ畫

バクダンハ　オソロシイオトヲタテテ　ハレツシマシタ。ソシテ　シロイケムリハ　モウモウト　モリノナカニ　タチコメマシタ。

大チャンハ　オソレオノノイテヰル　ムスメタチヲ　イソガセテ　ケムリノコナイトコロマデ　ニゲマシタ。シバラクスルト

シロイケムリハ　スツカリキエテ　ソノアトニ　モリノマワウノ　オホキナカラダガ　キノネモトニ　ヨコタワツテヰマシタ。

娘々祭座談會（上）

【大石橋小學校高等科生】

娘々祭の面白い傳說

毎年舊暦四月の十六日から三日間大石橋近郊の迷鎭山で行はれる滿洲名物の娘々祭は本年は本月の廿四日から行はれましたが大石橋小學校の高等科生徒は祭の日を前にして娘々祭に關する座談會を開催しました

司會者「これから娘々祭について座談會を開きます。御互ひ大石橋の住民として此の祭についての知識を交換する事は、大へん有意義な事だと思ひますから知つて居る限りを腹藏なく發表して戴きたいと思ひます」

辻本「一體、此の祭は何時頃から始まつたのだらう」

片桐「千二百年前に始まつたといふが、別に正確な記錄は無いやうだ」

辻本「何か當時の傳說といつたやうなものは無いだらうか」

片桐「僕はこんな話を兄さんから聞いた。昔一人の若者が、營口から大石橋へ鹽を運ぶために車を曳いて來たが、途中で、花を欺くやうな三人の若い娘が、疲れた足を引づつて歩いてゐるのに追ひついた。「何處へ」と聞くと、三人の娘は丁寧に「大石橋へ參ります」と答へた。そこで若者は「自分も大石橋へ行くのだから、疲れてゐるなら此の車に載せてあげやう」と勸めた娘は幾分不安に思つたけれども結局、若者の申出に從つて車に乘つた。若者は、重くなつた車を、汗を流しながら、それでも元氣に曳いて來た。車が大石橋の近くの山の麓まで來た時（その頃山の麓は一面の海であつたさうだが）どうした拍子か動かなくなつてしまつた。娘は「もう此處迄來ればあとはどうにかなります。どうか降して下さい」と頼んだ。若者が手を取つて娘を車から下してやると、三人の娘はかはるがはるこう云つた「あなたはほんとうに良い方です。近い内に福壽が來る事を祈りますよ」「それと同時に、あなたによいお緣談がまとまるやう妾は祈りますよ」「そしたら、可愛い、お子樣がお生れになるやう妾は祈りますよ」斯ういつて三人の娘は、布三匹を禮に與へて別れを告げ、手を取り合つて山を登つて行つた。若者が、車を曳く體を休めて振り返つて見ると、三人の娘は、山の中腹をわき目もふらずに上つてゐる。少し行つてから又振り返ると、娘達は頂きまで上りつめて休んで居る。三度振り返つた時には、娘は行儀よく坐つて祈りをして居た。若者がジツとその氣高い姿に見入つて居ると不思議、不思議、娘達の全身から眩い光が射して、體は黄金色に輝いてゐた。若者は驚いて早速近在の人々に觸れ廻つた。村人は傳へ聞いて山へ登つて行つたが、その時には娘達の姿をもう其處に見る事は出來なかつた。そこで純朴な農民達は、廟を立てゝ、三人の娘を祭つた。これが今の娘々廟である」

一同「面白いなあ」

初夏の池畔

【鏡ケ池所見】

水々しい若葉に包まれた鏡ケ池の澄るんだ水面には、初夏の日をしたふオタマジヤクシがまつくろに群て小さな尾をひらめかしてゐる。なつかしい初夏が來たのだ。

◇

……水邊の柔い土からは草の芽がゆたかに伸び、青葉の薫りの一ぱいに溢れてゐる水の上には子供達がボートを浮べて樂しさうに乘り廻してゐる。水にぬれたオールが時々陽を受けて若葉越しにキラリキラリと光る。

◇

岸の方では小さな子供達が水をいれた罎を片手にしきりにオタマジヤクシをすくつてゐる。

◇

……すべてが初夏らしい情景だ……

海軍記念日當日の 各學校の催 講話に競技に運動會に

當時の激戰を追憶する

明二十七日は日露戰爭の時に我艦隊が露國艦隊を日本海に於て擊ち破つた意義深い記念日です此の日各學校では當時を追憶するため日本海々戰に關する記念講話及び其の他の催しなどがあります。

小學校側では伏見臺校は先生の講話後少年野球仕合、朝日校は午前八時から青島攻擊及歐州戰爭に參加した海軍の兵隊さんの講話、日本橋校は古川先生の講話、常盤校は講話後西公園で全校生徒の大模擬戰、大廣場校は八時から記念講話、春日校は海軍々人の海の戰ひの話をきいた後全生徒は午後四時半から鏡ケ池で行はれる海軍協會主催の模擬軍艦水雷爆破の實況を見學、松林校は八時半から驅逐艦「槇」乘組瀨尾海軍中尉の記念講話、南山麓校は八時から記念講話、九時から校庭で小運動會を行ふ、嶺前校は八時から記念式九時から小運動會聖德校は八時半から海軍々人の講話、沙河口校は八時から日露戰爭の實戰に參加した習田海軍將校の講話、大正校は八時から先生の講話が夫々行はれる。それから中學校側では一中は九時から槇乘組の小關大尉の講話、二中は榛乘組の安田大尉の講話、尚當日は同校職員のテニス會がある。神明高女は記念講話、彌生高女は校長の講話の後校庭で全校生徒の競技會を行ふ。商業校は午前九時から槇乘組新美少佐の日本海々戰に關する最も趣味ある講話がある

發聲映畫雜話（一）

矢野クニ

我々は近代科學が生んだ驚異すべき作品を多數に持つてゐるが、中でも今日映畫界に一大センセイションを捲き起してゐる發聲映畫を覗いて見よう。

最近の發表に依ると米國は今後ユ社を除いて發聲映畫でなければ造らないと云つてゐるし、我國でも製作とか契約とかに血眼になつて騒いでゐる樣だ。一モダーン味豐な發聲映畫がモダーン人に歡迎される理由は筆者がこゝに今更書きつけねばならない必要も無いであらうが發聲映畫の出現によつての有味は、それは良いとして、一方色々の悲喜劇や樣々の惱みを目頭に展開するのは少し遠慮して後廻しにしよう。

さて一九二五年二月、彼の三極眞空球の發明者として有名なリド、フオレー博士の發明に係る發聲映畫をフオノ、フキルムと名づけて世界に發表して映畫界に一大革命を齎すと共に、其の興行的價値を認められてから四ケ年と三ケ月餘の月日が流れてゐる。そして同年の九月には早帝都に於て試寫され、一年有半の後當地大連劇場に於ても公開され、其の巧妙なる發聲に驚いたのであつた。最も各地を試寫した爲めフキルムをいため、從つてこれが原因で或部分は雜音が多く、又映畫と云ふよりも寧ろ寫眞と云つた方が適切であるが、發聲映畫の如何なるものであるかを說明する爲めに撮影されたものであつたゞけに、多くはワン、カツトでカメラのポジションが狹かつたとか、テンポがなつてゐなかつたとか、聲は發しながらも如何にも生氣に乏しかつたと云ふ不滿や、映寫技師未熟等によつて甚だ殘念に思はれた點も多々あつたが、しかし是等は許さるべき事であつたと思ふ、尙其後我國で製作されたものが一度上映された樣であつたが見なかつたのは遺憾であつた。

次に發聲映畫發明の沿革と、これは又少しく細々としてゐるが、簡單に其の撮影と映寫等について常識と云ふ程度で少しばかり述べて見よう。

一「パパ。何うして寫眞から聲が出るのツ。ヨウ」

「聲が出るから出るんだよ」では近頃の子供は承知しない。

平間文壽獨唱會
讀者優待割引券
この券持參者に限り一圓
後援 滿洲日報社

金剛呪門 (250)

山中峰太郎作　小田富彌畫

灰

その日の夜……天龍寺から西陣へ歸つてきた數之助は、一時に憂鬱に沈んだ。

……あゝ、生！

……彌生か由あるお公卿の娘で舞妓を十合の家へ入れることはならぬと、父からも、母からも、きびしく意見されたのだけれど、血統は正しい高家の生れではないか。その彌生が常寂寺に……

それを思ふと、心のみだれを靜め得ない數之助の憂鬱を、そばから直に、覺らずにはゐられない繼母のお京は、自分にあてられてる八疊の部屋に、入つてくると獨り崩れるやうに坐つた。

……あゝ、何か今日、天龍寺の往來のうちにあつたのに、ちがひない。

おもひ領ふ自分も沈みながら、庭の木立を掠めてゆく烈しい風の音さへ、お京の胸に辛くしみた。

戀ひの叶ふ日も遠くはない……と、それとなく、重兵衞とお初の氣ぶりから、耻づかしくも知らされてゐる昨日今日に、その今日の數の助の氣憂とさが、ひとしほお京の氣になつた。

吹きつる風の音を聞きながら、やがてお京は夜具を伸べた。スル〳〵と解く帶さへも、もどかしく、行燈の火を手で消すと、惱ましい吐息も洩れて、ふけゆく夜にも眠り得ずに、幾度か寢がへり打つてゐるうちに、いつしか苦い眠りに入つた。

西陣の夜ふけ……靄をかすめて吹きすさむ風に、もまれる木の繚ざわめく椙の多い十合の庭へ、忍びこんでゐる黑影が、風上の臺所の方へ、暗にまぎれてツ、と走つた。

と、そのまゝ消えて暫くした時臺所の裏口から椽の下へ、匍ひつゞけた黑影が、中庭へ出てまた消えた。そこに忽ち、臺所と中庭の二ケ所から、パツと燃え上つた炎に映しだされた男は、まさしく乙藏である……

風にあほられて消えかゝつた炎が、横に積み重ねた薪に移ると、一時に大きく燃えひろがつた、庭の木立に隱れながらそれを見た乙藏、凄くニタリと笑つた。

……見やがれツ！、叶はぬ戀の意趣ばらしだ！

……ヤイ、十合！、灰になれ！

お京への横戀慕……それが叶はぬ呪ひと妬みに、狂ふばかりに心を曲げた乙藏、江戸へ歸れと佃に言はれて、今はなほ自棄になつた……

最後は、こゝに火を放けた……

二ケ所に上つた炎は、風にあほられて魔の如くに邸を包んだ、火の足早く四方に廻つて、皆が起きた時は、すでに遲かつた。

何一つ持ち出す違もなく、煙の中に呼びつ呼ばれつする皆が、漸く外へ逃れた時、ドツと母屋の軒の燒け落ちた。

眞先に駈けつけてきた桂五郎、

「もうだめだ！」

炎の中に十合家……消しようもない火の手を見ると、風下の家を破壞にかゝつた。手下の皆が、桂五郎の指し圖で風下へ走つた。

燃えひろがつた西陣の大火に、火もとの十合は、跡もなく灰になつた。

その翌朝、漸く鎭まつた火の跡へ、やつれきつて來た重兵衞、それに佇んでゐる桂五郎を見ると、

「桂五郎さん、此の度は、えらい事になりました、何とも私は…」

さういふ聲さへ力なく震へた。

「あゝ大旦那さん、けれども、どなたも御無事でございましたから、それだけは、まア何よりと」

「さう思ふて諦めてゐますがな…」

「あの金剛盤は、しかし……？」

「さアな、鐵の箱に入つてるんであればかりは無事やと思ふけれど何せあれさへ出す隙がなうて」

「では探して、オウイ、皆來たツ」

燒け跡のまだ灰の熱い中を手下と共に探しだした桂五郎、やがて奧座敷の土臺石のそばにその鐵箱を見當てた。

……が、かつて沼田玄昌が劇藥で溶かしかけた鍵穴は、深くまでひろがつて、そこから入つた焰のために、さしも稀代の至寶たる金剛盤も、七ツの金剛石と大理石の玉と共に、灰になつて空しく鐵箱の中に、たゞ白く殘つてゐた……（をはり）

童謠民謠 舞踊大會

淺野研究生一行が來演

小倉市の特志家淺野喜平氏の獻身的努力と藝術的理解を有する市民の後援と石井漠、野口雨情氏等藝術家の指導になつて培はれてゐる純藝術團體、淺野童謠民謠舞踊研究所はその可憐な少女達の純眞な表現と洗練された技巧により九州の名物として小倉節と共に多大の賞讃を博してゐるが、今回滿洲見學旁來連するのを機として大連滿鐵社員倶樂部並に大連高等音樂院舞踊科主催滿鐵社會課後援で來る廿八、九日兩夜七時半から協和會館に於て童話民謠舞踊大會を催すが會費は大人七十錢少人三十錢會員外一圓小人五十錢である

映画と演藝

近く劍戲團の梅澤昇一座が歌舞伎座に來演することになつた▲また松本泰輔の實演隊は松本の代りに帝キネのベビースター杉村チエ子が來演するとのこと▲野球が始まるといふのに押すな〳〵で次から次へやつて來るが今年は內地の夏枯れが早いらしいといふ噂が立つ。

人體の大震災◇◇◇ 腦溢血の話

◇◇一記者

世界的政治家、一代の豪快、後藤新平伯の生命を奪つたものは、呪ふべき腦溢血であつた。春から初夏にかけて毎年のやうに幾多の名士が本症で倒れる原因は平素からの腦動脈硬化や高血壓が、陽氣の加減で亢進惡化する爲で、重きは卒中（腦溢血）となつて倒れ、輕きも半身不隨となつて廢人同樣となる。

然らばこの恐怖すべき卒中（腦溢血）は何の原因によつて起るかといふに、近來問題となつてゐる動脈硬化症といふ血管の硬くなる病で、血壓に耐へられなくなると腦動脈が破裂して腦溢血となるのであるが、原因は一朝一夕でない。亦動脈硬化症は腦溢血や中風の原因となるのみならず生命を支配する心臟、肺臟、肝臟、腎臟、等を萎縮硬化させるこれが老衰病で、心臟の血管硬化は心臟筋肉が萎縮退化し、徐々と其機能を中止せしめ、又腎臟の血管が硬化すれば萎縮腎となり人生の生存上かくべからざる蛋白が尿と共に下るから尿毒症を起し、全身衰弱の因をなすかくの如く動脈硬化は恐るべき病であるが●自覺症狀が激烈急性に來ない爲、多くの人は罹つてゐても知らずにゐる場合が少くない、（まるで噴火山上でダンスをやつてをるやうなものである）

×

動脈硬化症の症狀を述べて見ようまづ最初に輕微なる徵候さして、肩が凝り、眩暈がし、感情が昂奮して些細な事に腹が立ち記憶が減退して物忘れをし易く、夜分は安眠が出來ない等々（卽神經衰弱の徵候と類似してゐるから注意せよ）この時血壓を計つて見ると血壓が病的に昂進して百六十ミリ以上に達してゐる、かくて全身的に衰弱を來し、性慾も精力も衰へ、步行が不自由となり、倦怠を感じ長時間の精神勞働に堪へられなくなる。小便の回數も多くなつたり減じたりする、殊に夜間は回數が增すのが常である、又心臟部に多少の壓迫を感じ、どうき、息切を訴へ、時には手足や顔に水腫を來すこともある。しかして、血管が彈力を失ひ、破裂し易くなるから腦溢血を起すといふことになる。以上は敍事に過ぎないが畢竟種々なる續發的疾病に依て遂に再び起つ能はざるに至るしかしかくの如く恐怖すべき處の疾患と雖も適當なる攝生法と治療法を行へば悲觀の必要はない、又たとへ一旦倒れても治療よろしきを得ば再び[illegible]に回復することが出來るから、徒らに恐れる必要はないと信ずる。

滿洲日報

京都帝大教授 理學博士 近重眞澄氏著

東洋錬金術

菊判上製本函入 高雅なる新裝幀 定價金二圓五十錢 送料金十八錢

今日にかては東洋考古學の任務は決して單なる骨董探の満足であつてはならないので、上代の遺品古代の文獻から其科學的文化の價値を闡明することは實に我邦の科學者の双肩にかゝる重大なる使命でなければならぬ。本書は二千年前の支那の化學書を現代の科學的認識の光に照らし、著者多年の研究と實驗とによつて東洋の化學及び化學的製品の檢討を企て、最も明確に上代化學の文化的價値を立證したのである。其企畫の卓抜と方法の周密と内容の獨創性にかて、眞に古今第一の書と稱すべきものである。

新刊

鐵及鋼の研究 本多光太郎氏著 四六倍上製本 高雅なる装幀 一卷四・五〇 二卷三・五〇 三卷四・五〇 四卷五・〇〇

金屬總論 濱住松二郎氏著 四六倍上製函入 紙數五二〇余頁 定價十三圓 送料三十六錢

理學士森元七氏著

酵素化學 [理論 實驗]

菊判上製本函入 紙數五三〇余頁 定價金五圓八十錢 送料金二十七錢

「生活機能の大半は酵素作用の連續によつて行はれる」とは現代化學の宣言しつゝある標語である。本書は生物學・化學工業・臨床醫學等に寄與する所の多い酵素化學に關する理論及び研究法を最も平易明快に記述し、最近に到るまでの多くの文獻學報を脚註とし、最も懇切周到に斯學の大綱細目を說いたもので、酵素應用の研究問題の盛なる現代の學界に一日も缺くことの出來ない快著である。

新刊

内容要目

▼序論 ▼生物體における酵素 ▼酵素作用及化學力學 ▼酵素の分布 ▼植物及動物における酵素 ▼酵素の製法及其研究法 ▼酵素の一般的性質 ▼酵素に對する諸種の影響 ▼酵素の實際的應用 ▼醱酵 ▼カタラーゼ ▼食料品製造における酵素 ▼臨床醫學における酵素 ▼織物工業における酵素

有機合成化學 森山剛一郎氏著 菊判上製函入 高雅なる新裝幀 上卷二圓八十錢 下卷八圓五十錢

香料製造化學 關根重治氏・赤井左一郎氏共著 菊判上製函入 紙數七〇〇頁 定價七圓五十錢 送料二十七錢

生物化學 石尾貞朝氏著 菊判上製函入 紙數四八〇頁 定價五圓 送料二十七錢

最新嗜好品營養品製造化學 石尾貞朝氏著 菊判上製函入 紙數七八〇頁 定價八圓五十錢 送料三十六錢

北海道帝大教授 理學博士 池田芳郎氏著

フーリエの級數とルジャンドル並にベッセルの函數 [應用數學]

菊判上製本函入 紙數三四〇余頁 定價金四圓五十錢 送料金二十七錢

フーリエの級數ルジャンドルの函數ベッセルの函數は自然科學の問題を解決する鍵である。平面、球、圓柱の境を有する特殊偏微分方程式の解決を與へるもので數學者のみでなく物理學者より電氣工學機械學土木學建築學の研究家並に技術家にも缺くべからざるものである。本書の内容は著者が多年の研究の成果を合せて完成したもので、振動に關する問題の例題を添へてある。

新刊

フーリエ級數及積分論 カールスロー氏著 竹前源藏氏譯 菊判上製函入 紙數五〇〇頁 定價八圓 送料卅六錢

熱傳導論 カールスロー氏著 竹前源藏氏譯 菊判上製函入 紙數四三〇頁 定價七圓五十錢 送料廿七錢

ローレンツ微分積分學 山田光雄氏譯 四六倍上製函入 紙數五一〇頁 定價十圓 送料卅六錢

代數學 第一卷 藤原松三郎氏著 菊判上製函入 紙數六五〇頁 定價七圓五十錢 送料廿七錢

理學博士 池田芳郎氏 理學士 加藤鉞郎氏 共著

流體力學と翼並に水力機の理論

菊判上製本函入 紙數二八〇余頁 高雅なる新裝幀 定價金四圓 送料金二十七錢

本書は流體力學の數學的取扱ひ方法を詳解しその理論を飛行機の翼に應用することを述べ更にその翼の理論よりプロペラーや水力機の理論に至る關係を說いたものである。航空力學や水力機學は本書によつて其根柢を與へられるものであつて飛行機や水力機の實際方面にある技術者及流體力學や水力機の學修者にとりての優れたる且つ本邦にて唯一なる參考書である。敢へて學界の淸鑑を俟つ!!

新刊

質點及剛體の力學 玉城嘉十郎氏著 菊判上製函入 紙數三〇〇頁 定價三圓五十錢 送料二十七錢

彈性體及流體の力學 玉城嘉十郎氏著 菊判上製函入 紙數三二〇頁 定價四圓五十錢 送料二十七錢

電子論 三枝彥雄氏著 菊判上製函入 紙數三〇〇頁 定價四圓 送料二十七錢

ベクトルとテンソル 山田光雄氏著 菊判上製函入 紙數二六〇頁 定價三圓五十錢 送料二十七錢

出版目錄送呈 (郵税四錢)

東京市日本橋區大傳馬町二丁目 振替東京一二一四六番 電話浪花一八六五番

内田老鶴圃刊行

内面からの艶消で特に明るく汚れない

新 天威ランプ 天威瓦斯入電球

テーイランプの新電球

小さい可愛いお月様

お部屋のお花を金にした

わたしのきものを銀にした

東京電氣株式會社出張所

大連市山縣通五四 電五三五五

哈爾賓埠頭區地段街一五四 電四七七五

電氣工事請負 並ニ 材料販賣

萩野電氣工務所

大連市西公園町一五九 電話三四一四番

流行の夏服地が澤山參りました

御用命の程伏て願上候

既製洋服品目

背廣洋服各種 オーバーコート 夏トンビ 白セル ツンボ ゴム引雨合羽

何れも當店特製品御利用を願度

三島屋洋服店

大連市若狹町 電話六五四九番

高柳保太郎將軍著

日英兩文 五色旗たふる

三六判美本百八十頁 定價金六十錢(送料四錢)

滿蒙觀 價・五〇 送・〇四

滿蒙手ほどき 價・五〇 送・〇四

新興支那とは何ぞや 價・五〇 送・〇四

支那の歩み 價一・五〇 送・〇六

滿蒙の情勢 價一・五〇 送・〇六

改訂最新滿蒙地圖(昭和四年版) 定價金一圓 送料四錢

滿洲寫眞帖(昭和四年版) 定價一圓五十錢 送料十錢

好評嘖々

本篇は五色旗仆れて南京政府の樹立された頃から約一年に亘る支那の時事問題に觸れての著者の所感を蒐めたもので、英文としてマンチュリア デリーニウス紙上を飾り好評嘖々、論旨は公平にして私なきは既に定評あるところ、今英文の外、和文をも加へて單行上梓したから、讀者は一層の興趣を覺へるであらう。敢て識者の座右にすゝめる。

大連市紀伊町九十一 中日文化協會 電話三七一四一 振替大連八二五〇

英國直輸入新着

英國マクファレン會社 高級ビスケット(拾數種 一罐金二圓より四圓程度)

洋酒洋食料品

菊正宗

發賣元 鐵谷商店 大連市監部通 電話七〇四二番

〇小賣部も迅速に御屆け致します〇

胃腸に

タカヂアスターゼ

高峰博士發見

(1) 消化不良に因する總ての胃腸疾患 (2) 無力性胃弱者 (3) 結核其他慢性病者、重病恢復期等苟も食慾を亢進せしめ、消化を佳良ならしめ榮養の增進を欲する凡ての場合に賞用せらる

裝包 末、錠、還元、酒等各種 詳細説明書あり進呈

東京室町 三共株式會社 大阪、臺北、京城

自轉車界の權威

A號ナイト B號ナイト ケンネット號 キット號 ベーリス號

大連山縣通 田村商會本店 電話三九〇七、六二五二番

支店 旅順乃木町 電五一〇番 沙河口大正通 電九三九七番 奉天宇治町 電一四九〇番

おみやげ品

トランプ 花札 エハガキ 寫眞帖 渡滿記念火バシ 風呂敷

額縁商 常盤號

大連市浪速町三丁目 電話四五七〇・四七七六 卸部 三河町一八

240

ぱっと目につく初夏の化粧美

鉛分の無い 御園白粉

御園化粧品本舗 伊東胡蝶園

最新刊

上田恭輔著 支那陶磁の時代的研究 實價三圓六十七錢送料十二錢

三重吉著 黒い騎士 實價三圓六十七錢送料二十錢

林鶴一・小倉金之助著 級數總和數 實價五圓四錢送料二十錢

西澤道寛著 作詩法入門 實價二圓十錢送料十二錢

岩田新著 物權法概論 實價二圓八十九錢送料十二錢

春美紗雨著 競艶女變相圖 實價一圓五錢送料十二錢

高橋貞三著 法學通論 實價二圓八十三錢送料十六錢

藤澤衛彥著 明治風俗史 實價二圓九十四錢送料十四錢

荒木矩著 落款と箱書の栞 實價三圓十五錢送料十二錢

川上三太郎著 新川柳大觀 實價一圓五十七錢送料十二錢

鈴木謙一郎著 燒立ての鈴薯と其他 實價一圓三十六錢送料八錢

スティーヴンスン著 自殺俱樂部講義 實價一圓八十九錢送料十錢

今田武千代著 歷史哲學序論 實價一圓二十六錢送料六錢

奥村秀子著 漬物のつけ方 實價一圓五錢送料十錢

高石眞五郎著 米を見よ 實價一圓二十六錢送料八錢

伊藤千三著 日本倫理概說 實價一圓五十七錢送料十錢

永井柳太郎著 グラッドストン 實價一圓五十七錢送料十錢

最新刊

大塚五郎著 民謠辭典 實價一圓廿六錢送料四錢

佐伯與入著 秘密佛教護摩 實價一圓八十九錢送料十錢

蓮生觀善著 眞言宗大綱 實價一圓五十七錢送料八錢

荒木良仙著 比丘尼史 實價一圓廿六錢送料

關寛之著 兒童の宗教心理及教育 實價一圓廿六錢送料四錢

江原小彌太著 完成改作新約 上卷

破三著 新帝國主義論 實價二圓九十四錢送料六錢

吉田羊著 啄木を繞る人々 實價一圓五錢送料十錢

伊澤蘭奢遺著 素裸な自畫像 實價一圓六十八錢送料十錢

岩崎徹一著 明治煙草業史 實價二圓十錢送料八錢

佐野榮治等著 應用力學講義 實價四圓七十二錢送料十五錢

齋藤藁雄・一郎共著 兒童指導と實際 實價二圓九十四錢送料十二錢

西龜正夫著 少年世界地理文庫 實價一圓五十七錢送料八錢

矢澤米三郎著 雷鳥 實價一圓五十七錢送料十錢

汐藤榮著 趣味の圖書教材 實價二圓四十一錢送料八錢

文藝家協會著 大衆文學集 實價一圓八十九錢送料六錢

大連市浪速町 大阪屋號書店

大連市大山通 滿書堂書籍部

新聞の不配達其他の故障は電話四七六七番へ

馮玉祥氏下野して入露說傳へらる

韓石兩氏討馮軍を鄭州に集中　南京政府の宣傳か

【上海大矢特派員二十六日發】當地支那新聞の報ずる處によれば馮玉祥氏部下の韓復榘、石友三氏等は廿二日附で中央擁護を表示せる通電を發したが、更に二十四日馮氏に托しロシヤに赴かんとして居ると云ひ、また一方では馮氏は環境不利な爲め下野して部下を鹿鍾麟玉祥氏討伐のため兵を鄭州に集中しつゝありと中央に電報して來たるとの事である、右が果して事實なるや或ひは南京政府側の放ちたる宣傳的謠言なるや目下の處不明である

韓、石兩氏の寢返說

國民政府の離間策と判明　何等馮玉祥軍に動搖はない

【上海廿五日發電】馮系の韓復榘石友三氏を討馮軍第十三路總指揮に任命したとの國民政府の發表は全く事實に反した離間策に過ぎぬとが判明した、馮玉祥氏は目下戰線を短縮し內部の結束統一を圖りつゝあり動搖等は一つもないと云ふ、且つ馮玉祥氏が直接動かし得る兵數は約十五萬で軍器彈藥等の供給も相當整つて居り訓練も行屆き各軍とも河南省內で實戰の經驗ある軍隊であると

近く積極的に河南を攻擊

何成濬氏西山で語る

【北平二十六日發電】孫文移柩祭に參列した國民政府代表何成濬氏は今晚西山に於て左の如く語つた　馮軍部內には相當の軋轢あるもの、如く二十五日開封、鄭州間で韓復榘、孫良誠兩軍の衝突を見た程で韓復榘、石友三兩氏は南京に代表を出して中央服從を願出てゐる、南京に在る唐生智氏は一兩日中に鄭州に歸り蔣介石氏も徐州に出で河南を積極的に攻擊し始める、山西軍は省境防備に全力を注ぎ閻錫山氏は當分歸平しないだらう、自分は當分北支政局の重大なるに鑑み北平に留まるつもりである

一意專心中央服從を誓ふ

韓復榘よりの返電

【上海二十五日發電】國民政府發表、韓復榘は蔣の中央服從勸告に對し左の返電を送つた

蔣討伐通電中に余の名も書かれてゐるが余は右通電につき何等關知する處なく全く氏名を無斷利用されたものである、余は又鐵橋破壞につきても何等關係なし、余は一意專心中央服從を誓ひ洛陽に十萬の兵を集中して中央の命を待つのみ

山東省政府委員就任式

【濟南二十五日發電】山東省首席陳調元氏外委員五名の省政府委員就任宣誓式は廿五日午前十一時から城內の督辦公署にて支那側各會代表各國領事代表列席の上行はれた

蔣馮間調停說を犬養氏否定す

【上海二十五日發電】蔣馮對峙に依る支那時局混亂につき支那人一部では犬養、頭山兩氏が兩者の調停に立ち平和的解決を勸告すると の說傳はつてゐるが犬養氏は之を眞向より否定し

全然國內的の問題に浪人の我輩達が調停を圖るとか嘴を入れるとかはもつての外である

と強く言明した、なほ頭山氏は六月五日出發歸國するが犬養氏は北平に赴くやも知れずと

支那の發達に努力を望む

歡迎會席上　犬養翁の挨拶

【上海二十五日發電】二十五日夜の重光總領事官邸に於ける犬養、頭山兩翁一行歡迎會には支那側から上海市長張群、殷汝耕氏等出席し盛會を極めたが、重光總領事の挨拶に對し犬養氏は左の如く述べた

自分や頭山等が支那革命に骨を折つたと云ふのは［illegible］らない、自分達は支那の

革命こそ諒解し合ふことが必要

か國民黨の爲にとか云ふ意味でなく日本に於ける自分等の政治的地位の改善と同じ意味で國民革命の前途に就いて之を他所の國又は人の事とは思はず、東洋の將來のため努めたのであつて、此の點では孫文氏も自分達と同樣に考へて居り、日本の人口問題については我々と共に心配し互に激論を戰はしたものである、今日彼の國葬に列することは家族の葬儀に參列するの思ひがある、日支問題はお互に忌憚なく議論し合ふことが必要である、革命成就したりといへ今日の支那は日本の維新後二、三年に似てゐる、諸君も努力し秩序ある發達を期され度い

犬養頭山兩翁

早稻田會に列席

【上海二十五日發電】在滬中の犬養、頭山兩翁は本日午後一時日本人クラブに於ける早稻田會歡迎會に臨んだ

北愛蘭總選擧

【ベルフアスト廿五日發電】北アイルランド國會下院の總選擧の結果は本日殆ど全部判明した各派の當選者數は左の如くである

統一黨三四、國民黨一二獨立統一黨二

即ち定員五十二名中結果の判明せるは右の四十八名で殘るはベルフアストのクウイーンズ大學區の四名であるが之れは全部統一黨より當選確實である此の四名を加へ統一黨をを合計三十八名とすれば總選擧前に比し各派の議席增減は左の通りである

統一黨六名增、國民黨一名減、獨立統一黨二名減、勞働黨二名減

奉票暴落

謠言紛々たる瀋陽城內

【奉天特電二十五日發】今朝來瀋陽城內には蔣介石氏失脚、張學良氏の北平密行、張宗昌氏の來奉など諸說紛々たるものがある、右は錢鈔業者の流布するところなりとも言はれてゐるが、廿五日奉票が五千七百元臺に大暴落し前途尙豫測を許さぬのは、そこに何事か事件發生を豫報するものとみなされてゐる

反政府懇談會

【東京廿五日發電】反政府各派より成る時局懇談會は廿五日午前十一時から丸之內中央亭に實行委員會を開き協議の結果關直彥、大竹貫一、內田良平氏外二名を訪問委員に擧げ、內田兩氏の歸京を待ち直に內田伯を訪問辭職勸告を行ひ續いて閑院、山本伯、清浦伯を歷訪するに決し二時散會した

公債整理の經濟審議會案

實行の可否を調査

【東京廿五日發電】經濟審議會が、公債現在額は五十八億に達し目下審議を進めつゝある公債整理現行償還繰入れ萬分の百十六では償還終了に約八十年を要するを以てこれを萬分の百廿に高め約三十年を以て償還せんとする經濟審議會案は財源問題がよこたはり政策問題にも影響するので、小川鐵相は大藏省に審議會案の實行可否を調査せしむることとなつたが、中橋山本氏らは實行可能の意見を以て居るので具體的資料を得た上政府の一大方針として閣議にはかる筈である

內閣改造協議

三相鼎座で

【東京二十五日發電】二十五日午後零時半中橋商相は首相官邸に於ける經濟審議會後山本農相を官邸に訪問し、小川鐵相も之に參加し三相鼎座拓相任命に伴ふ內閣改造につき協議する處あつた

會長中橋、山本兩相は小川鐵相とて、會見政府としての對策を協議した

出る釘を打つ千遍一律の喧嘩

戰爭中に皮肉な祭典　(下)

上海にて　大矢特派員

頭の出過ぎた蔣介石をたゝき込ませるため四方の英雄?が通謀して護黨討逆同盟なるものが出來たことは既電の如くである。その「護黨討逆」は張宗昌の「討赤」と選ぶところないから今更名分が立つの立たぬとの詮議は不用であるが、その同盟の首腦部の組合せの痛快さに至つては到底奧張聯盟なんどの比ではない。

×　×

曰く廣西派——李宗仁、白崇禧、黃紹雄、曰く廣東左派——汪精衛、陳公博、曰く舊國民黨——唐紹儀、章炳麟、それに馮玉祥と四川の楊森、吳佩孚、更に品下つて二流どころになると河南の貸元劉鎮秀、陝西の親分寶珊、山西の野武士弓富魁と言ふ連中まで驅け參じ、國民政府へ歸り新參の唐生智も連判に加はつてゐるとか、ゐないとか。…まづざつとこれだけ並べて見ただけでもその錚々たる點に於て日本の地震內閣なんどの及ぶところではない。

×　×

人も知るが如く舊軍閥的色彩の最も濃厚なる廣西派と修正派、社會主義者とも言ふべき廣東左派の茲兩年來の啀み合ひは到底妥協の餘地ありとも思はれなかつたが、それが一緒になつた。左派の御大汪精衛は所謂法文法で「護黨討逆共釋前嫌、於必要時即可歸國」と十六字の電報を打つて來た「共釋前嫌」がちつとも「護黨討逆」のためでなくて「陰謀取引」のためであることは言ふまでもない。

×　×

廣西派と馮玉祥との間に一脈の腐れ緣があつたことは今年の正月以來屢傳へられたところで廣西派が武漢で事を起す前には馮玉祥との提携諒解あつたとのことであるが、廣西派の旗色怪しと見るや馮は軍を湖北に送つて漢口の後方を脅やかし、廣西派をして蔣軍と一戰も交ふることなく武漢を放棄せしめた。然もそれはついこの間のことである而して馮玉祥と廣西派が今更「護黨討逆」は甚だ通らぬ話ではある。

×　×

更に又黃河流域に散在してゐる樊鍾秀と云ひ、寶珊と云ふ、弓富魁と云ひ何れも彼等の土着的地盤は馮玉祥のために掠め取られ、天晴れ草澤の英雄が流寓の據るところなき今日の憂き目に遇つてゐるのもみな馮玉祥故である。にもかゝはらず不倶戴天の仇とも言ふべき馮玉祥とゝもに同じ同盟の下に在ることが奇怪ではなからうか。まして楊森、吳佩孚まで加入してゐると言ふに至つては論外の沙汰と言ふべきで、陰謀好きの支那人に陰謀の威力魅力の強さ、驚くに堪へたる次第である。これだけ多數の猛者どもが寄つてたかつて攻めかゝつた日には如何に銀の彈丸に事缺かぬ蔣介石でもやつゝけられぬとは限らない。

×　×

事實蔣介石もモウぼつ〳〵年貢の納め時ではある。が蔣介石がやつゝけられることの當否はさて措いてこうした「陰謀取引」によつてもし蔣介石がやつゝけられたとしたならばその「陰謀取引」が民國革命史不朽の偉績と云ふ衣を着せられるであらうことを思ふゝ蔣介石も浮ばれまい。

粗惡炭を生產的に活用せねばならぬ

撫順炭礦現場を十分視察して　山本滿鐵社長語る

【撫順特電二十五日發】山本滿鐵社長は笹原秘書役、山崎代議士、庵谷奉天商議會頭等を帶同奉天まで出迎へた山西炭礦長、久保同次長等を從へ二十五日午後一時五十分來撫、驛頭には炭礦側岡村調查役その他幹部多數、大林警察署長、內野病院長、久野郵便局長、山上實業協會長の出迎へあり直に自動車に分乘し、それより臨時列車にて剝土剝岩やダンプカーの作業を視察し次いで南昌洋行に接續せる露天掘を見、古城子及び露天掘として昨年度より着手せる楊柏堡、大山南坑、東ケ岡等の各露天掘を

五臺の殘らず

視察し、午後六時炭礦中央事務所にいたり應接室にて小憩、左の如く語つた

事務所內にて小憩、製品を見つゝ說明を詳さに聽取、鋭き質問を發しつゝくまなく視察を遂げ同てオイルセール工場に到り岡村所長の說明を許さに聽取、談油頁岩の搾滓に及ぶや社長はこれを坑內の充塡材料に充つるよりも更に有效に使用する方法あることを說き、流石の專門家をアツと

赴任した當時一度來たことがあるがそれは全く素通りで、今日は見たいと思つてゐた露天掘の現場及び作業狀態も手にとる如く見ることを得たことは大收獲であつた、その發展飛躍實に驚嘆に値する、露天掘は悉く機械を利用してゐて剝土剝岩に使用するエキスカベーター、スチームショベル等にしても一々外國製品を使ふやうでは情ない、これ等の機械は滿鐵の工場で出來るやうにならねば嘘だ、又その粗惡炭だといつてその

まゝ捨てゝ置くことは國策上よろしくない、選炭方法よろしければ分市場に出すことが出來る、豐富な正炭を掘ると共に現在廢物にしてゐる雜多なものは今少し生產的に活用せねばいかん

かくて社長は六時四十分發の列車にて官民多數の見送りのうちに奉天經由歸連の途に就いた、明朝歸着の豫定である、因に社長の上京期は六月上旬であると

內閣改造問題漸く注目さる

拓務省問題を中心に

【東京二十六日發電】拓務省新設を動機として昨今漸く內閣改造問題が擡頭しつゝある、即ち閣內及び與黨內には不戰條約並に新黨問題の片が着いた上で內閣改造を電光石火的に斷行せんとする下心から拓務大臣を兼攝せんとする田中首相の意嚮に對し反對してゐるものがある、併し現在の所首相としては只意中に秘策を考ふるのみで閣僚中誰にも相談せず又意見を徵したようなこともなく只久原遞相のみに幾分意中を語つたらしい、故にまだ表面には具現しないけれども今回の改造に久原遞相の意見が多く入ることを恐れ一種の牽制を試みんとするの機運も動いてゐるが要するに拓務大臣新設問題を中心として內閣改造問題は漸く注目されて來た

內閣改造の要は來議會對策

床次氏結局入閣せん　岡崎邦輔氏談(東京特電二十六日發)

內閣改造は不戰條約問題と引離してはやれないといふものではない

陣容を一新するといふ

ことよりも來議會に對する策として如何しても床次氏を入閣せしめ新黨クラブと一段の緊密を圖らなければならぬといふのが手段である、來議會は前議會に比し政府にとつて甚だ苦境であらう、この點に首相が頭を惱ましてゐるのは當然の事である、新黨側から見ると田中首相の意見などは、新黨側から見ると田中首相その他一二の入閣反對者もあるやうだが、床次氏將來の事を思へばこれは問題でない、何となれば一部に唱へられてゐるやうな中間內閣とか少數黨內閣とかいふものが到底成功する筈のものでないことは何人も明らか

事實で

ある、若し床次氏が斯樣な場合を夢想して入閣を拒絕するとせば同氏の末路は思ひやられるものがある、この事は床次氏も充分知つて居ると思ふから宇垣大將の如き人物を加ふれば之に越したことはない、要するに政府の期待を裏切るやうな事はあるまい、また政府としては床次氏のほか內閣改造は閣內の異動や黨內からの拔擢だけでは何等の意味をなさぬと思ふ

政府が不戰條約の御諮詢を奏請すれば既に本問題の解決は出來たものと見定めた場合であるから、直に內閣改造に着手するであらう、改造に際しては田中首相は先づ第一着手として床次氏に渡りをつけることは瞭かである、それは政府

市會紛擾妥協運動に就て

結束はしてゐる　意見は未だ纏らない

市長側の某有力者談

大連市會の紛擾妥協運動に對し市長側の某有力者は語る

中立の立場にゐる某氏から助役問題に關して意見を聞かれたのは事實である、自分個人としては既往を問はず何れの例から推薦するにしても事實上市の事務を遂行するに適任であれば協調して之を推し市會を紛糾の淵から救ひたいと思ふ、しかし我々同志といふ立場から云へば未だ一、二反對者もあり意見は纏つてゐないのでどうなるか豫想は出來ぬ、今のところでは十二名が完全に結束現狀に善處すると いふことだけは明言できるが未だ具體的の方法は決定してゐない

調停交涉は受けぬ

滿鐵側有力者談

更に滿鐵側の有力者は次の如く言つてゐる

滿鐵側と石本派との間に全く溝が出來て終つたといふことは當つてゐるかも知れぬ、しかし之は市長側が再三の忠告にも拘らず吾々に挑戰した結果なので如何とも致し方がない、市長派と滿鐵側との調停といふやうな意味の交涉は受けたことがない、自分個人としては絕對的に石本氏に反對しやうとしてゐるのではない、安心の出來る樣な助役があれば別に調停を俟つまでもなく局面は收拾されると思ふ、しかし自分が意中の人を助役に推薦するなどといふことも絕對にない、要は石本市長の助役として適當の人物ありやなしやといふことで、之によつて問題は善惡ともに最後の解決を見るであらう

紅班も『運休』で哈爾賓に立往生

廿五日貨物列車に嫌はれて　白班の二の舞ひ

白班加藤選手が吉敦線で貨物列車の運休により折角の秘策も効をなさなかつたが、紅班も呼海線に於ける貨物列車便乘計畫が同じく運休の厄に遭遇し二十五日哈爾賓泊りを餘儀なくされた、即ち紅班秋山選手は二十五日午後二時四十分馬船口發列車にて綏化に到り、同地を二十六日午前二時二十七分に發する十一次貨物列車に便乘して同七時廿六分に海倫に到着と同八時發列車で馬船口に引返す豫定であつたといふが、廿五日夕刻に至り十一次貨物列車運休の報紅班本部に達した、之が爲班長は直に第二案を哈爾賓の秋山選手に打電したが、紅班ではこの一日の遲延は何れの地でか必ず取返すと大に策を練つてゐる

加藤選手

朝陽鎭到着

【朝陽鎭にて二十五日加藤選手發電】輝吉線の一番乘りの快を味はひながら豫定より一時間遲れて二十五日午後五時三十分朝陽鎭に着いた、少數ではあるが同地在留邦人は驛頭にわざ〳〵出迎へて歡迎して吳れた、同夜七時朝陽鎭發梅河口に向ふ豫定であるが、數日前より同列車は運轉休止となつてゐるため止むなく朝陽鎭に一泊し、二十六日午前七時發列車に乘り込み瀋海線を踏破する豫定である

なほ白班本部では右の電報に接し武田班長は更にダイヤグラムを組み直した結果、加藤選手に同夜深更電報を以て或る種の對策を命じた

投票一萬五千通

票數は六萬餘の見込

驛傳競爭所要時間豫想投票懸賞募集は締切期日たる廿五日夜までに無慮八千三百五十餘通の應募數に達したが同日投函して廿六日朝本社に到着したものだけが四千八百三十餘通の多きに達した、これ締切最後まで愼重にダイヤを研究した人が頗る多かつたことを示したものであらう、斯くて同日夕刻までには更に千八百餘通を增加し合計して約一萬五千通に上つたが此の中には同封で二三票乃至十二三票を封入した分が極めて多いものゝ如く其の精確なる數は開封の上でなければ判明せぬが假りに一通四枚平均と見れば應募總票數は實に六萬の多きに上るであらう、此の投票は審查の嚴正を期するため驛傳競爭終了の日まで密封せるまゝ保管し競爭終了と同時に開封して公平に審查することになつてゐる

驛傳ゴシップ

◇

所要時間豫想投票は一人一枚、且つ一人一票だけに限つてあるので投票者の多くは或は家族の名を書き、或は一會社總出で一人一票宛投ずるといふやうな方法を執つてゐるが、中にはリレー競爭豫想のリレー投票といふことをやつた向がある、即ち大きな會社官廳では大槪幾日から幾日の間といふ見當を附けて置いて二三十分乃至一二分置きに豫想投票を作れば其の中のドレかゞ引掛からうといふやり方である

◇

豫想投票は〆切られたが競爭は尙中の過程にも達して居らない、果して今後幾日何時間かゝるか兩班の作戰本部でも全く見當が附かない、兎に角相當の狂ひがあるらしい

◇

紅、白孰れが勝つかといふ斷が深甚の興味を集中してゐる、紅が先づ長驅して徐に白の細かいダイヤとの遂行を觀望してゐるのは巧なやり方であると見るものもある、又之を反對に白が先づウルさい處を片付けて行くのが巧妙であるといふ向きもある、サア孰が當つてゐるか

泉二局長

廿六日奉天着

【奉天特電二十五日發】司法省刑事局長泉二新熊博士は二十五日午後三時來奉した、驛頭には林總領事、森島、前出領事其他司法關係者、支那側よりは趙欣伯博士外法學研究會員一同出迎へた、博士はヤマトホテルに入り各方面の來訪客に接し午後五時松梅軒にて開催の法學研究會の招待宴に臨み、午後七時より林總領事の歡迎宴に列する筈で趙欣伯博士も陪席の筈

江藤小西兩氏

【奉天特電二十五日發】中日實業公司重役江藤豐二氏は廿五日午後二時鮮銀大連支店長小西春雄氏と共に安奉線にて來奉したが今夜山本滿鐵社長と同車大連に向ふ筈

關東廳辭令(二十四日)

關東廳遞信書記補　柏木金男

依願免本官

ばいかる丸無電　二十六日午前九時七發島通過、二十七日午前七時大連港外着の豫定

安田髑子

「笑ふ門」には福來る」と日本ではいふ「笑ひは萬病の藥」と外國でいふが之はベルリンでの話▲ワルテル何とかいふ藝術家が數年前喉頭結核を患つて遂に聲が出なくなり了ひ種々に手を盡して見たが效能がなかつた▲處が此の頃妻君と一夜活動寫眞を見に行くととても面白い喜劇で抱腹絕倒して其の藝術家翌日になると不思議や四年間閉ざされた喉が忽ちあいて聲が自由になつたといふ▲山本滿鐵社長が船のデザインをしたことは報じたが實は三井時代から船には因緣のある方で三井の船の中には「山丸」と山の字の附いた船は大概山本氏が命名したものであるといふことである

孫文氏の靈柩列車奏樂裡に北平出發
昨日午後五時西陽門驛から津浦線で南京へ

【北平二十六日發電】午前十時西直門に入つた孫文の靈柩は此處から正式儀禮行列に編成され先づ騎兵隊長が先頭となり國旗、黨旗を持つた騎馬隊若干之に續き此の

儀禮の 總指揮たる平津衛戍司令代理商震氏は步兵一個中隊を率ゐて之に次ぎ北平警備司令張蔭梧、公安局長趙以寬、憲兵司令楚溪春氏等夫れ〴〵關係各機關代表を率ゐて之に續き孫文の遺像を安置する遺像亭に次いで國民政府代表、各國公使、館員及び外賓進等み兩側を大きな青天白日章で彩られ六十餘名の槓夫に擔がれた孫文の靈柩は喪裝した遺族、中央執監委員、國民政府代表、河北省別市北平特各黨部員、省、市政府委員等に紼を執られ四十名の儀仗憲兵に兩側を守られて

肅々と して進み軍隊黨部、政府、警察其の他各界團體の代表數千名は其の後に續き蜒々二哩餘の長蛇の列は國民革命の領導者に對する崇敬と、此空前の盛儀を觀んと沿道に堵列した北平市民に見送られながら西四牌樓から西單牌樓に出で西長安街に折れ天安門から中華門、正陽門を拔け西陽門驛に着いたのは午後四時であつた

斯くて孫文の靈柩は驛に準備された十二輛より成る靈柩列車に移され

宋慶齡 女史、孫科氏夫妻を初め遺族及び吳鐵城氏等國民政府代表に見護られ蔣介石氏より派遣された護衛團の警護の下に外交團及び北平各機關、各團體代表多數の見送りを受け軍樂隊の奏樂裡に五時發車津浦線で南京に向つた

只管行幸を待ちわびる島民
奉迎準備整ふ八丈島

【大賀鄉二十六日發電】陛下を迎へ奉る八丈島九千の島民は光榮の日を後二日に控へ準備を整へ皆わく〳〵と二十九日を待ち佗びてゐる、先づ陛下の御上陸港たる三根港は港と云ふ港もなく屹立した岩と岩の間の僅な入江の內に新しい棧橋代用のセメント張り石段が作られてゐる、此の石段の登り詰めたところが大賀鄉村である、陛下はそれより三根村を經て上湊に至る一里半の村道を御徒歩ひになるが八丈青々と茂つた中を手桶を頭に載せた娘が行交ふてゐるのも變つた景色である、行幸を仰ぐ小學校は粗末ながらも青く塗り替られ陛下が立たせ給ふ見晴臺は三根港を一眺に收むる地で此の地に早くも行幸道路が作られてゐる

汽船遭難漂流

【函館廿五日發電】日高の國下方沖合で廿四日川崎汽船一隻と發動機船二隻乘組員合計六十五名の漁夫船員を乘せたまゝ遭難漂流中であるが波浪高く救助困難にして人命危險なため函館無電局では航行中の三河丸に救助方をラヂオで依賴した

ネストル大僧正の司祭で嚴肅な追悼會執行
全支からの白系露人が集合して旅順戰歿者を祀る

五月晴の太陽が若葉に輝く旅順郊外三里橋の露國墓地で、廿六日午前十時から白系露人の旅順籠城廿五年記念追悼會が盛大に擧行された、參列者は

籠城 當時の生存者であるクラマレンコ少將や關係者のハンチン大將、ネストル大僧正ほか滿洲里、哈爾賓、ボクラニチナヤ、長春、奉天、營口、上海、天津、大連方面より約五十名、日本側より軍司令部板垣高級參謀、村上副官、久保田海軍駐在武官、鈴木無線電信所長、橫山第九驅逐隊司令大塚在鄉軍人分會長他約三十名

墓地 前には哈爾賓より態々持つて來た露西亞の花輪を中心に軍司令官、旅順海…、現役軍人一同、白玉山招魂社、帝國在鄉軍人後援會の花輪が兩側に捧げられた

定刻金の十字架を胸に下げ黃金の光り眩ゆき許りのミツトラおよびマンチヤに威儀を正しガヂローを下げたネストル大僧正がトリキリヒ及びジキリヒを捧持せる二名の祭司を兩側に、ボーソフを

捧持 せる祭司を後方に肅然として墓前に額づき極めて莊重な聲で追悼文朗讀するや、參列者一同は心を罩めて祈禱を爲し籠城者代表クラマレンコ少將は日本側參列者に鄭重なる感謝の辭を述べその隣地に日本側が建てた墓標に向つても敬虔なる祈禱を行ひ地下の英靈を慰めた

それより一同は白玉山に登り日本軍戰歿將士のため納骨祠に花輪を捧げ、追悼の

祈禱 をなし少憩後東鷄冠山第二堡壘に到り玆でも花輪を捧げ「マカロフ」提督の鎭魂祈禱式を行つた、「コンドラテンコ」將軍並に一同は二十五年前に於ける當時の激戰を追想し轉た感慨無量の態に見えた

旅順籠城廿五周年追悼會
【寫眞上圖】日本で建てた碑の前の祈禱【下圖】露人墓地の追悼會

青島の紡績職工果然罷業を計畫
廿四日の分は揉み消したが更に大罷業勃發か

【青島特電二十五日發】我駐屯軍撤退後必ず勃發すべく憂慮された紡績職工のストライキが、廿四日午後六時四方の內外棉紡績工場に於いて先づ計畫的に火の手を揚げたので、工場側では直に支那憲兵の出張を求め結局大事に至らずに收まつたが、根本的安定を見るには至らず彼等の行動は全く計畫的で各方面の工會と聯絡を採りつゝあるのであるから早晩大罷業が起るものとの豫想の下に紡績側では…の陰謀と見做してゐる

職工一應就業

日支官憲と對策協議中である

【青島二十五日發電】既報內外棉罷業は工人代表と商埠局社會課長吳耆氏が本日正午會見の結果罷業團は課長に信賴し一應就業することゝなつたが會社側では今度の事件は單なる勞働爭議に非ず共產黨

張作霖氏の一周忌
廿五日奉天で

【奉天特電二十五日發】本日は昨年の今月今日姑屯において不慮の最期を遂げた張作霖氏の一周年即ち舊曆四月十七日にあたるので張學良氏は二十四日夜小南門外老爺廟の僧侶十五名を呼び徹夜讀經せしめ、本日官邸及び奉陵の別莊において質素なる一周年忌祭を執行した、尙吳俊陞氏の一周年祭も小河沿の同氏邸において本日催され官民多數の參拜者があつた

喜久子姬西下

【東京廿六日發電】高松宮妃殿下となられる德川喜久子姬は母堂ミエ子刀自に伴はれ本廿六日午前九時三十分東京驛發汽車にて西下伊勢に向はせられた、廿七日御參拜御結約勅許の御禮を奉告廿八日伏見桃山御陵參拜六月二日歸京の筈

南洋征空の壯擧に成功して無事歸還
廿五日正午過ぎ海軍二機橫須賀へ
列國海軍に注視さる

【橫須賀二十五日發電】南洋征空海軍機伊藤少佐の一番機を先頭とし進大尉の二番機之に後續して午後零時二十五分歡呼の聲に迎へられ無事着水歸還するや安達航空隊長、山本鎭守府司令長官代理、長谷川參謀、和田航空司令等は兩飛行士の成功を賞揚握手し一同冷酒をくんで其の壯擧を祝福した、橫須賀、サイパン島間往復距離二千五百四十四浬、航續三十五時間三十一分、平均時速七十一浬強であつて帝國海軍としては稀なる優秀技術を發揮したもので、列國海軍より注視せらるゝところとなつた

意氣揚々として引揚更に市中を練り歩いた

勇敢な櫻井機關兵曹

【橫須賀廿五日發電】南洋飛行につき桑島副長は左の如く語つた

歸還飛行の際小笠原島附近で五十一號は油が漏れ始めて心配したが、櫻井一等機關兵曹は勇敢にも翼の上に飛び乘り一分間千六百回を回轉するプロペラの直後にある發動機に噛り付き修理を行つたので幸ひ事なきを得たが、其の勇敢なる行爲は賞讚に價するものである

◎子供の一番多く讀む讀物　最近岐阜縣の調査によると、小學校の兒童課外讀物中、並外れて多いのが、幼年俱樂部であつた。やはり內容の優れたものが多く讀まれると同縣では大評判！

第一日は醫大勝つ
工大との對抗競技

【奉天特電二十五日發】工大對醫大の對抗競技は午後となつて愈白熱化し觀衆約二千人に達し盛況裡に續けられたが、結局相撲は十四對八で工大勝ち、排球は第一回戰で二十一對三で醫大勝ち、第二回戰は二十一對十三で再び醫大勝つた、かくして第一日の試合は午後五時終了した、なほ第一日の得點は醫大四、工大一で醫大勝ち

滿展の洋畫評（下）
淺枝次朗

大久保一氏の『街』、『雪の日』二點共に小品ではあるが感情が溢れるばかりに充實した繪である此の調子の大きいものを見せて欲しかつた。河南拓氏のうたゝね林檎と人形、新しい境地を開拓せんとする作者の意氣が現れてゐる靜物の方が調つてゐるが二點共ところ〴〵氣分の乘らない筆があつて目觸りになると思ふた佐藤功氏のロシア人形のある靜物、桃梨の春、奇麗な繪だ殊に谷山誠生氏の鱈鮭を配したる靜物は垢ぬけのした繪であるけれ共アカデミツクの藝術を基調として見れば申分ないが近代的の精神主義の立場から言ふと物足らない作品である、市村力氏の春の靜物、中川一政氏の繪を聯想させる斯うした物像の單純化を目安とする研究に於て毛色の變つた作品である然し畫面の持つ感情は弱い。

○—○

湯との氏近來の進境は目醒しい昨秋發表した諸作も一般の注意を惹いたが今度の作品は更に一層深く突き進んだと思はれる靜物は筆も色も先づ申し分ないが構圖に氏一流の陳列癖が出てゐるのと畫面の下の部分があつけない氣がする湯どのは人物にもつと力があつたらと思ふ然し手腕は先づ拔群と云つていゝ川路豐藏氏の發電所風景、自畫像、二點の內では發電所風景が無難である自畫像には作者が努力してゐる理想の表現法はうなづかれるが筆が練れてゐない、明賀房…氏の夜の頰、靜かな午後、纏まつた作であるそれ丈け詩味に缺けてゐる。

○—○

此の外平島信氏の若き日外一點眞山孝治氏のロシヤ娘と肖像は共に努力した作で既に定評があるから敬意を表するにとゞめる尙他に杉野一酒氏の版畫二點常本庄藏氏の彫刻習作及び鷄がある、最後に靜かに考へると之れはどこの展覽會でもそうであるが此の會も概して若い中堅作家が興味の中心であつて滿洲の美術界は將來此の人達によつて面目を一新し所謂ほんとの鄉土藝術・花が咲くのではないかと思はれる。(終)

龍谷大學盟休

【京都二十五日發電】京都龍谷大學は遂に與休明けの二十日に至りオール學生大會を開き總ストライキを斷行するに決定したが學生は防衛隊を組織し騷擾化の虞あり

日本大相撲 十日目の勝負

【東京廿五日發電】

勝	決り手	負
大潮	突き倒し	白岩
潮ケ濱	寄り切り	外ケ濱
出羽岳	寄り切り	星甲
劍岳	押し切り	常陸島
大蛇山	掬ひ投げ	若常陸
和歌浦	上手投げ	朝光
常陸岳	押し倒し	古賀浦
幡瀨川	寄り倒し	鏡岩
熊	寄り倒し	太郎山
池田川	吊り寄り	信夫山
岩本山	引き落し	寶川
新海	外かけ	東關
吉野山	はたき込	玉旋
武藏山	突れ込み	朝潮
山錦	寄り切り	清瀬川
若葉山	押し切り	雷ケ峰
天龍	寄り倒し	眞鶴
錦洋	下手投げ	常陸岩
能代潟	ひねり	大の里
常の花	はたみ込	豐國
玉錦	寄り出し	宮城山

打出し午後六時五分

けふのラヂオ

昭和四年五月廿七日(月曜日)
自午前十一時 相場(特產、錢鈔、株式、各地相場)
自午後○時三十分 相場(特產、錢鈔、各地相場) ニュース
自午後三時三十分 相場(特產、錢鈔、株式、各地相場) ニュース
自午後七時三十分(海軍記念放送)
一、ニュース
二、講演 日本海々戰の跡を偲びて 關東州在任海軍武官海軍中佐久保田久晴
三、オーケストラ 1、君ケ代 2、軍艦マーチ ヤマトホテル管絃團
四、薩摩琵琶 日本海々戰 正派 橫溝湖城
五、箏曲 凱旋ラツパ 箏福永大勾當、同森川とし子、尺八木村汲山
六、尺八 青海波 都山流草崎主山
七、料理獻立
八、天氣豫報
九、ラヂオ體操